

HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書・据付説明書別添付

日立全自動電気洗濯機
型式

エヌダブルリュー ダブルリューワイ

NW-7WY

エヌダブルリュー ダブルリューワイ

NW-6WY



このたびは日立全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・据付説明書・洗濯機設置時のチェックシート(据付確認書)とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→(P.4～7)をお読みいただき、正しくお使いください。



ホームページから
「使いかた動画」を
ご覧いただけます。
スマートフォンや
タブレット端末で
読み取ってください。
詳しくは→(P.76)

ご利用の際は、通信費等の
費用がかかります。



シャワー浸透洗浄

白い約束

日立全自動洗濯機

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	4
各部のなまえ・付属品	8
操作パネルのはたらき	10
使用上のご注意	12
据え付け状態の確認	12
ふたの開閉について	13
ふたの開けかた	13
チャイルドロックの設定	13
ふたの閉めかた	13

お洗濯の前に

洗濯物の準備と確認	14
洗濯も風脱水運転もできないもの	14
風脱水運転できないもの	14
上手に洗濯をする	15
洗濯物の片寄りを防ぐ	15
洗濯物の重さの目安	15
洗剤や柔軟剤の使いかた	16
洗濯物の量の計測と水量表示	16
洗剤・液体漂白剤・柔軟剤量	17
洗剤・液体漂白剤・柔軟剤の入れかた	18
石けん(天然油脂)の入れかた	20
洗濯のりの使いかた	21
洗濯のりの入れかた	21
風呂水(お湯取)を使う	22
お湯取ホースの取り付けかた・取り外しかた	22
お湯取運転の設定	23

使いかた

運転コースの選びかた	25
洗濯する	26
使いかた	26
詳細設定	27
手造りコースを使う(自分でコースを造る)	28
使いかた	28
お好みの設定で運転する	29
水量・洗い・すすぎ・脱水の設定を変更する	29
洗い・すすぎ・脱水の個別運転	30
運転内容と変更できる内容	32
毛布コースで洗濯する	34
洗濯の準備	34
お洗濯キャップの使いかた	35
毛布・掛け布団の入れかた	36
毛布・掛け布団の干しかた	36
使いかた	37
ドライコースで洗濯する	38
洗濯の準備	38
お洗濯キャップの使いかた	39
洗濯物の前処理	39
洗濯物の干しかた・仕上げかた	40
使いかた	41
予約運転をする	42
使いかた	42
詳細設定	43
部屋干し運転をする	44
使いかた	44
詳細設定	45
風脱水運転をする	46
使いかた	46
詳細設定	47
槽洗浄・槽乾燥を使う	48
運転の使い分け	48
槽洗浄	48
槽乾燥	48
使いかた	49

便利な使いかた	50
お湯取運転の最後に水道水ですすぐ(清水すすぎ)	50
脱水後の洗濯物をほぐす(ほぐし脱水)	50
ボタン受付音の設定	51
終了音の設定	51
お湯取設定を記憶する	52
衣類乾燥機と組み合わせる	52

お手入れ

糸くずフィルター	53
排水口・排水トラップ	54
給水口	54
風呂水吸水口	55
お湯取ホース・クリーンフィルター	55
本体、洗濯・脱水槽	56
吸気口	56
水栓(蛇口)、ワンタッチつぎて、給水ホース	56
洗剤トレイ(粉末洗剤投入口)	57
柔軟剤投入口	57

お困りのとき

操作パネルにお知らせ表示されたとき	58
こんな音がしたとき	59
本体各部	59
① 音	59
② 振動	59
③ 給水口・給水	60
④ 排水口・排水	60
⑤ ふた	61
⑥ 洗濯・脱水槽	61
⑦ 電源	61
⑧ 風呂水吸水・風呂水吸水口	62
⑨ 本体	62
本体の運転動作	62
⑩ 運転動作	62
⑪ 運転時間	63

操作パネルの表示内容	63
⑫ 水量表示	63
⑬ 運転中表示	63
洗濯物の仕上がりが気になる	64
⑭ 洗剤残りがあ	64
⑮ 糸くずが気になる	64
⑯ 汚れ落ちが悪い	64
⑰ 黒ずみが気になる	65
⑱ 黄ばみが気になる	65
⑲ 色移りや変色が気になる	66
⑳ 洗濯物がゴワつく	66
㉑ においがつく	66

アフターサービスなど

もしものとき	67
凍結のおそれがあるとき	
(または転居などで水抜きをするとき)	67
もし凍結したとき	68
別売り部品	69
仕様	71
保証とアフターサービス	72

ご使用の前に

お洗濯の前に

使いかた

お手入れ

お困りのとき

アフターサービスなど

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかなねますのでご了承ください。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	 「警告や注意を促す」内容のものです。
 注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。	 してはいけない「禁止」内容のものです。
		 実行していただく「指示」内容のものです。

警告

電源プラグ・電源コードの発火や漏電を防ぐために（感電・けが、発煙・発火・火災のおそれ）



- 電源コードを傷つけない
 - ・傷つけない、加工しない ・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない
 - ・加重をかけない、挟み込まない
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
- 傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない
- タコ足配線をしない、延長コードを使用しない



- 定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを単独で使う
- 電源プラグは根元まで差し込む
- 電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取る



- 電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く
- お手入れの際や長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く



アース線接続

- アース線を取り付ける
アース線の取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。
(工事費は、本体価格に含まれていません)

本体の故障や事故を防ぐために（電気部品を傷めたり、振動で本体が転倒したりするおそれ）



水場禁止

- 浴室など湿気の多い場所、屋外など風雨にさらされる場所に据え付けない



- キャスターの付いている台など、不安定な場所に据え付けない

警告

運転時の爆発や火災を防ぐために（油の酸化熱による自然発火や引火のおそれ）



- 引火物や火気を洗濯・脱水槽に入れない、近づけない
 - ・灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールおよびそれらの付着した洗濯物
 - ・ローソク、蚊取り線香、たばこ
- 揮発性溶剤(灯油、ガソリン、ベンジン、シンナーなど)やカセイソーダを使って洗濯しない
それらの付着したものを洗濯しない
- お湯取ホースで、灯油やガソリンなど水以外のものを吸い込まない

感電、漏電、ショートによる火災を防ぐために



プラグを抜く

- 本体が動かない、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
修理は販売店などにご相談ください。



水ぬれ禁止

- 本体各部や電源プラグに水や洗剤などをかけない



- 入浴中は風呂水吸水をしない

子どもの事故を防ぐために（洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをするおそれ、窒息のおそれ）



- 子どもに洗濯・脱水槽の中をのぞかせない、本体の近くに台を置かない
洗濯・脱水槽内に閉じ込められて、窒息、やけど、感電、けが、おぼれるおそれがあります。
- 操作に不慣れな方だけでは使わせない



- 付属品が梱包されているポリ袋は、子どもの手の届かないところに置く
ポリ袋を頭にかぶると、窒息するおそれがあります。

洗濯・脱水槽への巻き込まれを防ぐために（ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがのおそれ）



接触禁止

- 洗濯・脱水槽が完全に止まるまで、中の洗濯物などに手を触れない
手に巻きついてけがをするおそれがあります。
特に子どもには注意してください。

洗濯運転時の発泡を防ぐために（泡が多量に発生し、本体の故障・水漏れ・感電のおそれ）



- 洗剤は表示に従って適量を入れる

安全上のご注意（必ずお守りください） つづき

⚠ 注意

洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷を防ぐために

（洗濯・脱水槽のバランスがくずれて異常振動が発生し、洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷、洗濯物の飛び出し、本体の転倒のおそれ）

異常振動が発生したときは安全装置が作動しますが、洗濯・脱水槽が高速で回転しているため、すぐに回転は止まりません。



●防水性の衣料・繊維製品は、洗濯・脱水槽には絶対に入れない

防水性の衣類は水を通さないため、洗濯・脱水をしても衣類の中に水が溜まっています。そのまま脱水をすると、溜まった水が急激に移動し、回転バランスが崩れて異常振動が発生することがあります。

脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、洗濯機や周囲の壁や床などを破損することがあります。

また、洗濯機が転倒することもあります。

— 防水性・繊維製品の例 —

釣具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、紙おむつ、おむつカバー、自転車・バイク・自動車カバー、カーペット、防水性マット・シート、足ふきマットなど硬くて厚いものなど
(洗える表示があっても洗わないでください)

●毛布などの大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯・脱水槽には絶対に入れない
折りたたんだ衣類の固まりが、脱水中に突然バランスをくずし、異常振動が発生するおそれがあります。脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、洗濯機や周囲の壁や床などを破損することがあります。

また、洗濯機が転倒することもあります。



●一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しない

異常振動や洗濯物の片寄りの原因になります。

けがを防ぐために



●ロックされた状態のふたを無理に開けない



接触禁止

●運転中は本体の下に手足などを入れない

●ふたは取っ手を持って開閉する、無理に開閉をしない、本体に手を置いてふたの開閉をしない
無理な力で開閉すると、ふたや部品の破損につながる可能性があります。

本体に手を置いてふたの開閉をすると、ふたと本体の間に指や手を挟むおそれがあります。

水漏れを防ぐために



●洗濯前は水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないか確認する

ねじの緩み、水栓(蛇口)のパッキンや金属部などが、長年使用していると経年劣化やさびなどにより水漏れに至るおそれがあります。

●使用しないときは、水栓(蛇口)を閉じておく

●据え付け直後や移設直後など、水栓(蛇口)接続を変えたあとには、まず水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないか確認する

⚠ 注意

風呂水運転時の水漏れを防ぐために (サイホン現象により、お湯取ホースから水が流れ出して水漏れや床をぬらすおそれ)



- 浴槽の水面より風呂水吸水口が低くなる場所で使用しない
- お湯取ホースのクリーンフィルターを浴槽に入れたまま吸水つぎてを外さない

洗濯物の損傷を防ぐために



- ふたを閉めるときに洗濯物を挟まない



- 洗濯物のひもなどは結び、ファスナーやボタンを閉めてから洗濯・脱水槽に入れる

本体の損傷や故障、水漏れを防ぐために



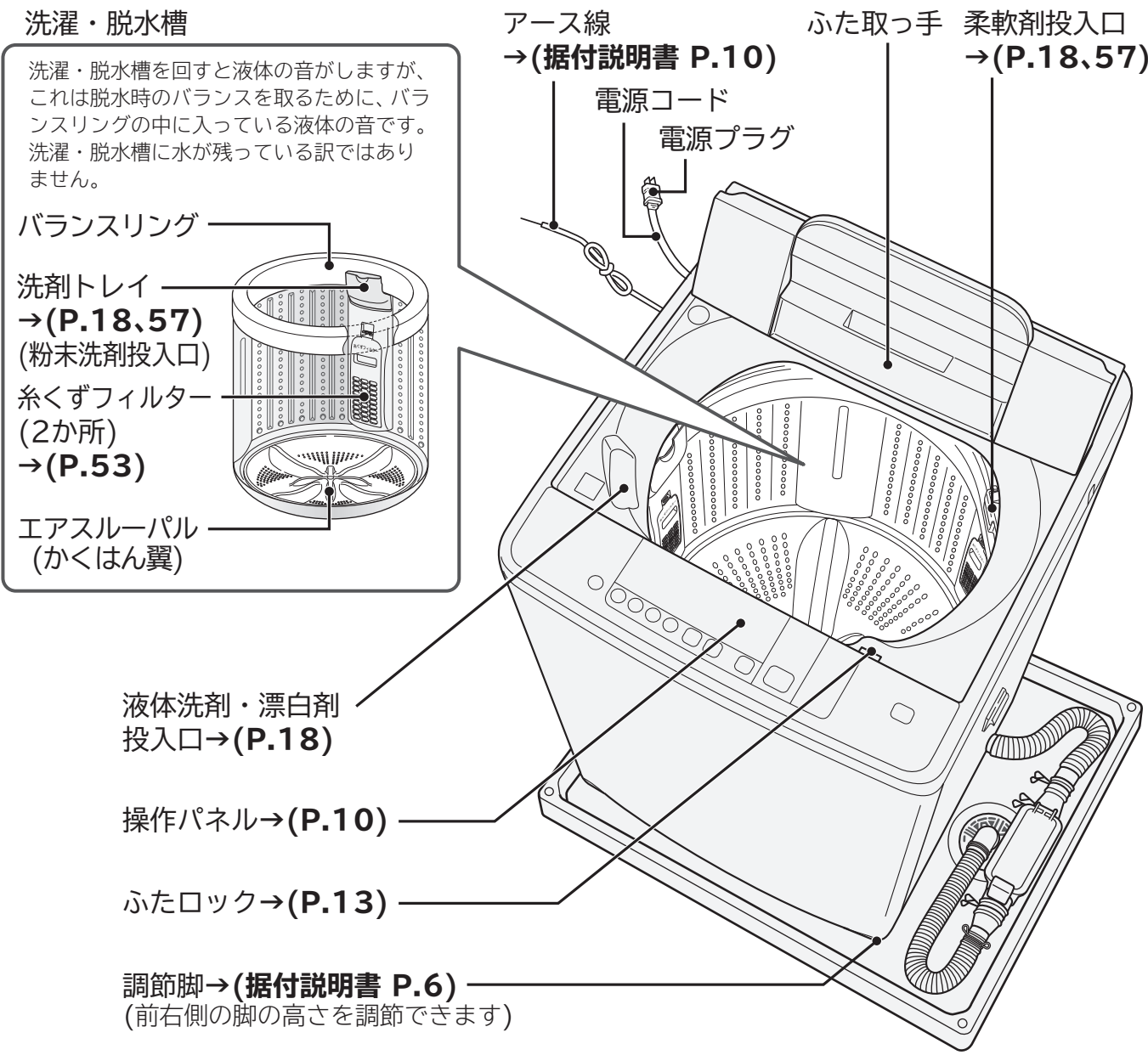
- 本体の上にのぼったり、重いものを載せたりしない
- 運転途中で洗濯物を追加する場合は、入れ過ぎない
洗濯物の量が自動計測されたあとに衣類を追加すると、適切な水量とならないため、本体の故障のおそれがあります。
- 洗剤を入れ過ぎない
排水口から泡があふれ、水漏れするおそれがあります。
- 硬貨やヘアピン、つまようじなどの先のとがったものなどを洗濯・脱水槽内に入れない
洗濯物のポケットの中なども確認して、ある場合は取り除いてから洗濯・脱水槽内に入れてください。
- 給湯機からの温水を使用しない
- 50℃以上のお湯を使用しない

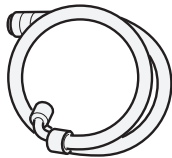
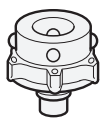
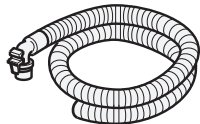
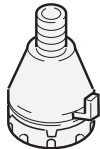


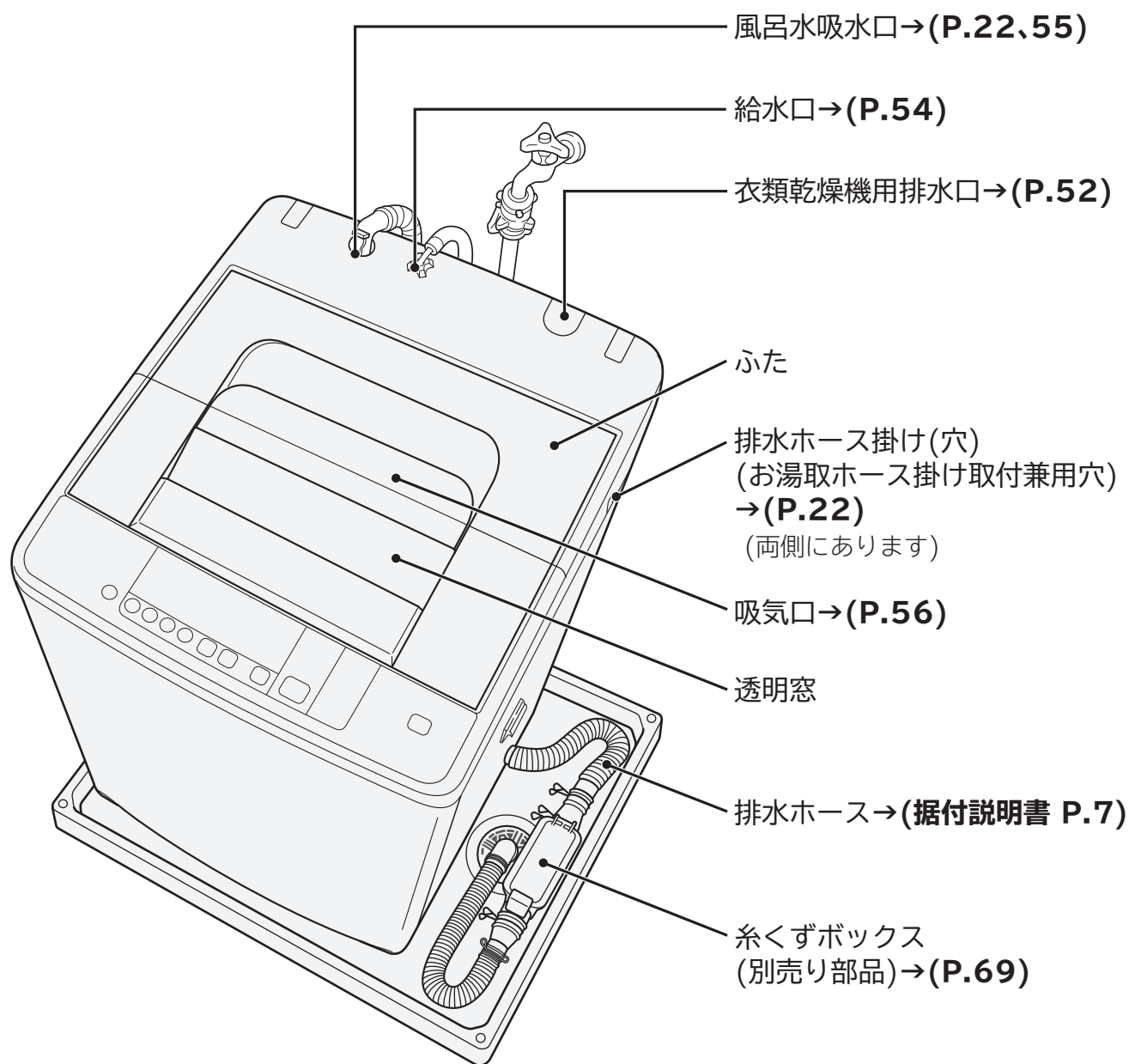
- 別売り部品の洗濯機用防水パン・洗濯機用トレイ→(P.69)を設置する
水漏れや結露により、床面がぬれたり汚れたりするおそれがあるため、洗濯機用防水パン・洗濯機用トレイをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。
- 断水後や、一度給水ホースを外して再度取り付けた場合、長期間使用しなかった場合は、水栓(蛇口)を閉めて「槽洗浄」を選び、スタートボタンを押してからゆっくり水栓(蛇口)を開く
給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧によって本体が破損し、水漏れやけがのおそれがあります。

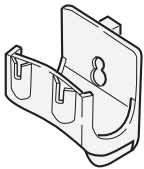
各部のなまえ・付属品

使用する前に、本体各部のなまえと付属品を確認してください。
→(P.00)カッコ内の数字は主な説明のあるページを示しています。



付属品			
水栓(蛇口)との接続に 使用します		風呂水を使うときに 使用します	
給水ホース (約0.8m) →(据付説明書 P.13)	ワンタッチつぎて →(据付説明書 P.12)	お湯取ホース(約4m) (吸水ホース) →(据付説明書 P.14)	クリーンフィルター →(据付説明書 P.14)
			
(1本)	(1個)	(1本)	(1個)

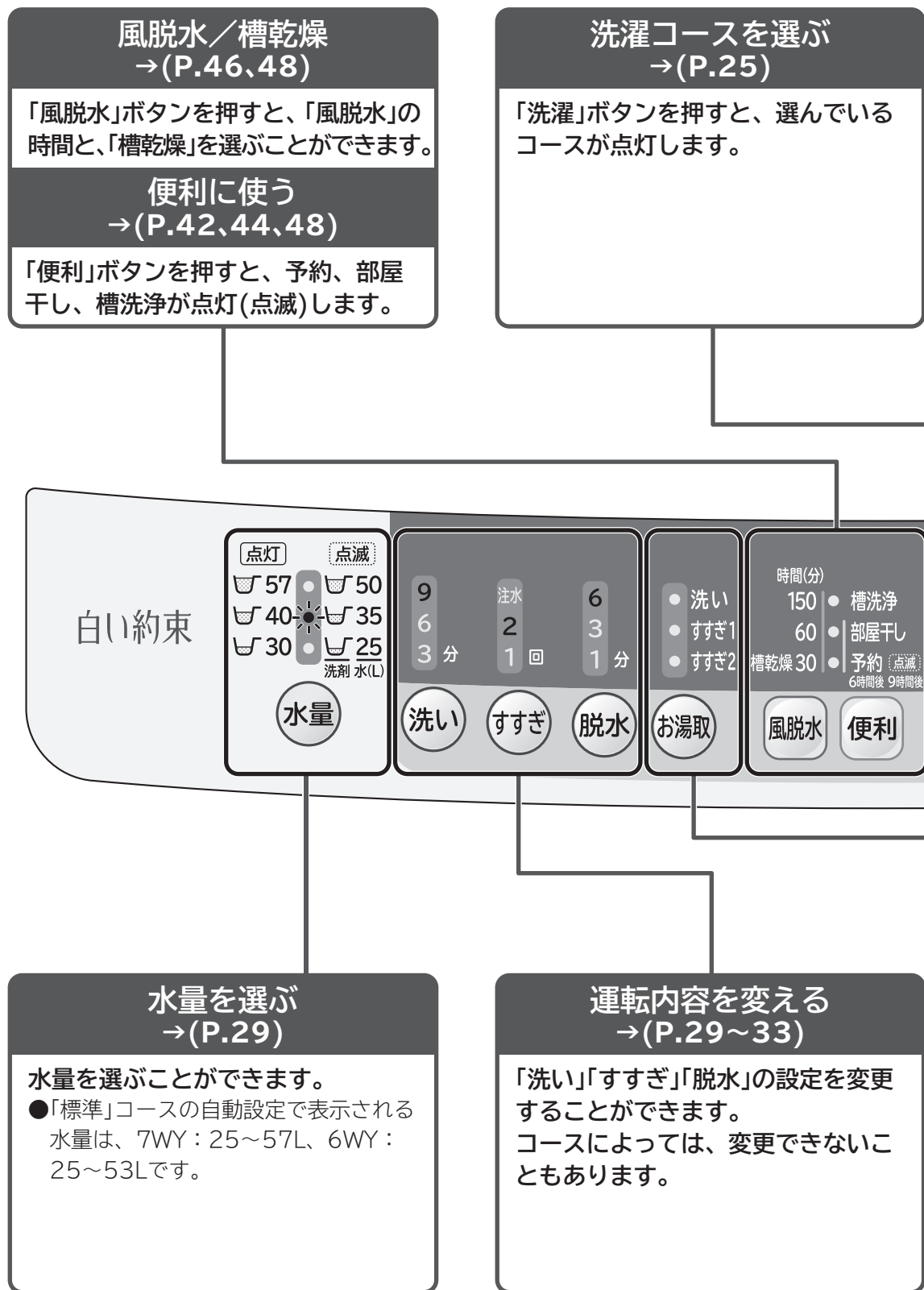


お湯取ホースを 片づけるときに 使用します	本体を水平に 据え付けるときに 使用します	本体の水平を 確認するとき に使用します
お湯取ホース掛け →(据付説明書 P.15)	脚キャップ (高さ調整用) →(据付説明書 P.6)	水準器 ※水準器は洗濯機専用 です。 →(据付説明書 P.6)
	8mm 4mm 	
(1個)	(4個)	(1個)

操作パネルのはたらき

この操作パネルはNW-7WYです。

NW-6WYは水量の表示が異なりますが、使いかたは同じです。



部は、「便利な使いかた」の設定をすることができます。→(P.50～52)

スタート／一時停止 →(P.13)

スタートや一時停止を行います。

- 一時停止の状態で、1時間以上放置すると、自動で電源が切れます。

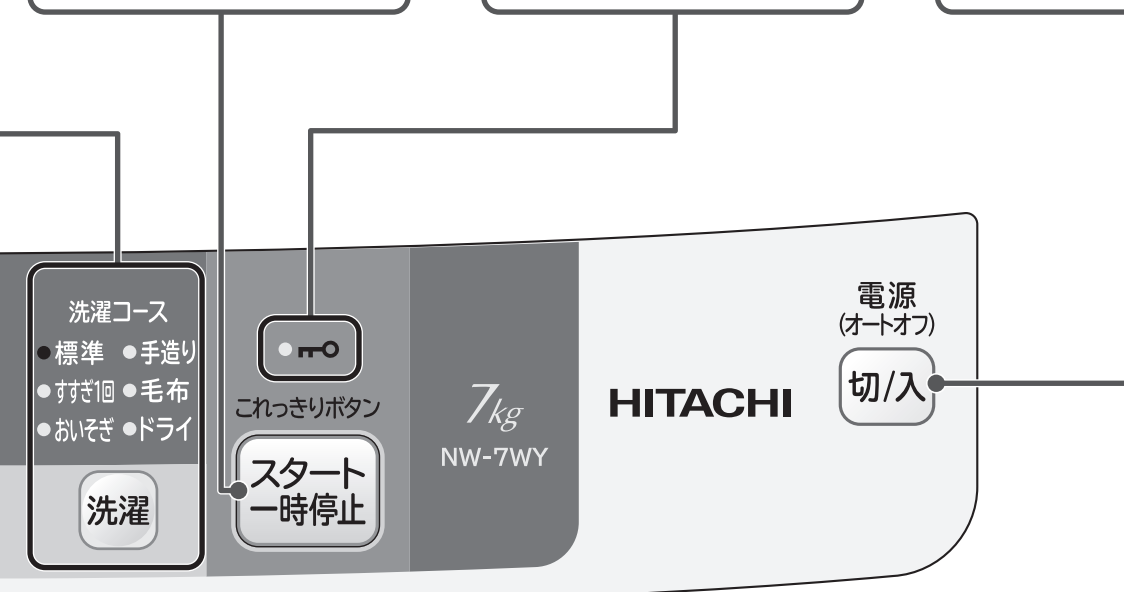
ふたロック表示 →(P.13)

-  (ふたロック)
- ふたがロックされている間、点灯します。

電源

電源の入・切を行います。

- 運転が終了すると自動で電源が切れます。
- 電源を入れたままスタートさせずに20分間経過すると、自動で電源が切れます。(電源オートオフ)



※操作パネルは「標準」コース(水量35L)の例です。

風呂水を使う →(P.22)

「お湯取」を押すと、風呂水が使える行程が順に点灯します。

表示について

設定や行程などをランプの点灯と点滅および数字(文字)の点灯でお知らせします。

消灯表示 ○, 3 (数字例)

点灯表示 ●, 3 (数字例)

点滅表示 

操作パネルの 点字表記について

目の不自由なかたでも操作部の位置がわかる「点字シール」(操作部にはり付けます)をご用意しています。
ご希望の方は、お客様相談センターへお問い合わせください。→(P.74)

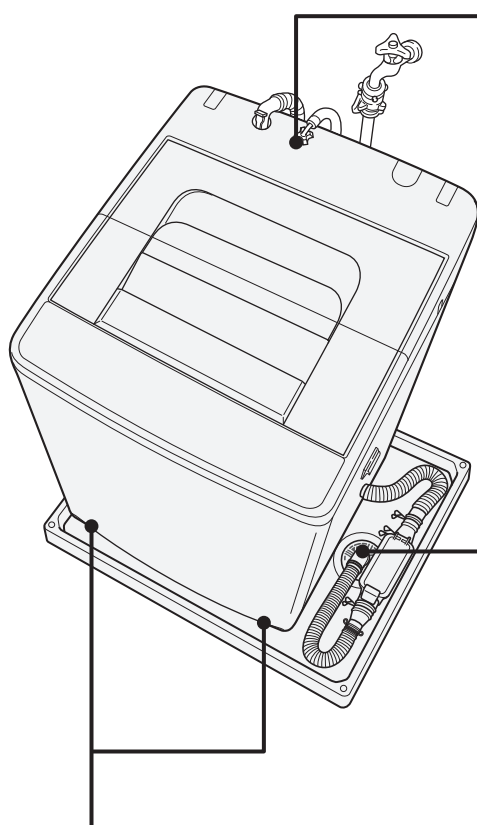
使用上のご注意

よくお読みのうえ、正しくお使いください

- 運転中は電源プラグを抜かない（本体の故障のおそれ）
「一時停止」ボタンを押し、電源を切り電源プラグを抜いてください。
- 本体にテレビやラジオを近づけない（画面が乱れたり、雑音が入ったりするおそれ）
ラジオの近くで運転させると雑音が入り、放送が聞きにくくなることがあります。
本体とテレビやラジオを離れたコンセントに差し込み、2m以上離してください。
- 洗濯物を入れ過ぎない
（洗濯物のはみ出しにより、洗濯物や本体のプラスチック部品の破損のおそれ）
（洗濯時間が長くなったり、洗いムラが発生したりするおそれ）
- 風脱水運転中は十分に換気をする

据え付け状態の確認

水漏れ・排水異常などの問題があるときは、お買い上げの販売店
または設置された業者にお問い合わせください



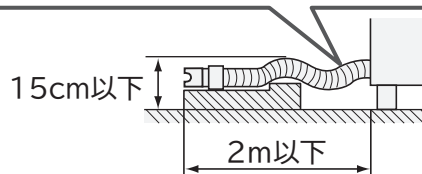
水漏れが発生したとき

- 水栓(蛇口)の接続は、付属品のワンタッチつぎて →(P.8)を使用していますか？
- 接続部分に緩みやぐらつきはありませんか？
- 給水ホースの本体接続時、ユニオンナットと給水ホースを一緒に回して、給水口に取り付けましたか？ →(据付説明書 P.13)
- 水栓(蛇口)のパッキンや金属部などに劣化やさびが発生していませんか？

排水異常が発生したとき

- 排水ホースの高さは、15cm以下になっていますか？
- 排水ホースが、排水口に取り付けられていますか？ →(据付説明書 P.8)

敷居を越えるときは、高さ15cm以下、
排水ホースの全長を2m以下に



脱水時の停止や、異常音・振動が発生したとき

- 本体が水平に設置されていますか？
- 水準器の気泡が円の中に入っていますか？
→(据付説明書 P.6)

お知らせ表示(すき表示の全点滅)が表示されたとき

- 排水口が掃除できるように本体を設置し、排水口(排水トラップ)は月1回を目安にお手入れされていますか？ →(P.54)
- 排水口に糸くずがたまりやすい場合や、掃除しにくい場合は、別売り部品の糸くずボックス →(P.69)をお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

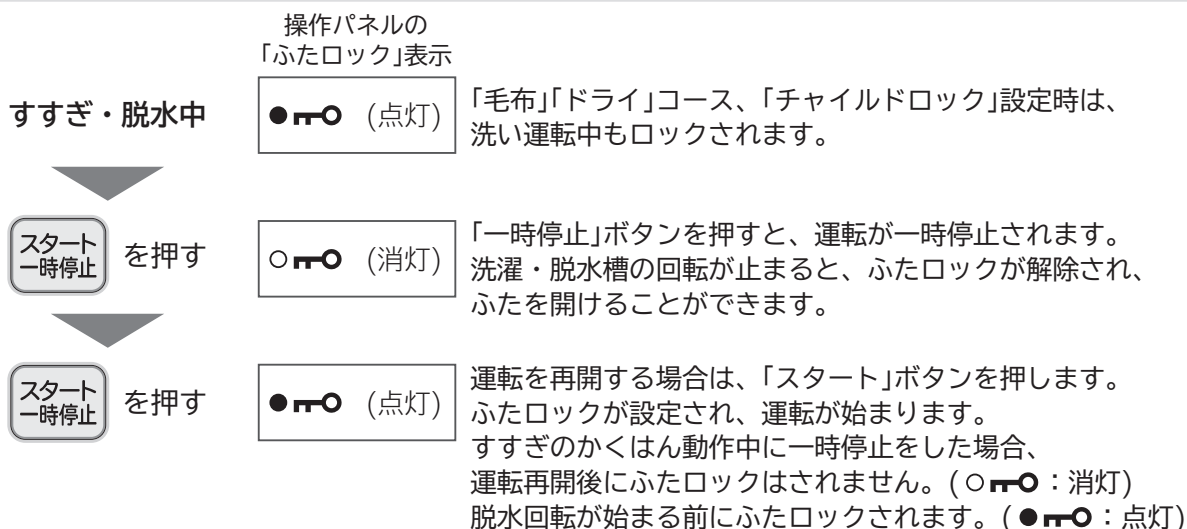
ふたの開閉について

安全のため、運転終了までふたが開かないように自動でふたロックが設定されます。

ふたの開けかた

運転中にふたを開ける場合は、「一時停止」ボタンを押し、ふたロックを解除してから開けてください。無理にふたを開けると、ふたロックが故障するおそれがあります。

運転中にふたを開ける



運転途中で電源を切ると、ふたロックが設定されたままの状態です。運転が終了します。「電源」ボタンを押して電源を入れ、5秒程度待ち、ふたロック表示が消灯○したことを確認してから、ふたを開けてください。

チャイルドロックの設定

洗濯時に子どもがふたを開けたり、誤って洗濯・脱水槽内に落ちないように、強制的にふたをロックして、開かないようにすることができます。

1	ふたを閉め、  を押し、電源を入れる	
2	設定するとき	解除するとき
	 を押し、「標準」コースを選ぶ	 を押し、「標準」コースを選ぶ
3	 を3秒以上押す 「ピー」と鳴り、設定される  (点灯)	 を3秒以上押す 「ピッ」と鳴り、解除される  (消灯)
4	 を押し、電源を切る	

●設定内容は記憶されます。

ふたの閉めかた

ふた取っ手を持って、しっかり閉めてください。
しっかり閉めないとふたロックが設定されず、危険防止のため運転が始まりません。

洗濯物の準備と確認

洗濯物に付いている取扱絵表示や注意表示を確認してください。

洗濯も風脱水運転もできないもの

次のような洗濯物は、洗濯も風脱水運転もできません。

洗濯物の縮み、形くずれ、変色、損傷、風合い劣化などのおそれがあります。

- 洗濯絵表示  や  の表示があるもの
- 取扱絵表示や素材表示が付いていないもの
- 皮革・毛皮・羽製品、それらの装飾品付き製品
- 和服、和装小物製品
- ネクタイ、スーツ、コート
- レーヨン、キュプラ、それらの混紡品
- シルク製品
- ベルベットなどのパイル地製品
- コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工の製品
- 毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペットカバー
- 強撚糸(強くよじった糸)を使用したウールやちりめんなどの製品

洗濯物が片寄りやすく、異常振動による本体の故障、けが、洗濯物の破れなどのおそれがあります。

- 防水性製品 →(P.6)
洗濯物に洗える表示があっても、洗わないでください。
- 玄関マット、ラグマット、敷物
 - ・裏面にゴムが付いているもの
 - ・厚手のもの
 - ・毛足の長いもの
- カーペット
- 座布団や枕、クッションなど
- 洗濯補助具(洗濯ボール、ゴミ取りフィルターなど)
- ペットの毛が多量に付着したもの

風脱水運転できないもの

次のような洗濯物は、風脱水運転できません。

洗濯物の縮み、しわつき、変色、損傷、風合い劣化などのおそれがあります。

- ゴムやウレタンなどを使用した製品
 - ウレタン(スポンジ類)の入ったぬいぐるみなど
 - 布団類などわたを使用した製品
 - ウールなどの獣毛およびその混紡製品
 - レースや刺しゅうなど飾りや付属品のある製品
 - 濃い色のプリントもの
 - 次のような取扱絵表示が付いているもの
- | | |
|---|---------------|
|  | ドライクリーニングができる |
|  | つり干しがよい |
|  | 弱くしぼるのがよい |
|  | しぼってはいけない |

上手に洗濯をする

洗濯物の片寄りを防ぐ

脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、自動で片寄りを修正する動作を行うため、運転時間が長くなります。また、脱水中に振動が大きくなり、運転が途中で止まる場合があります。洗濯物の片寄りを防ぐには、次のようなことに注意してください。

洗濯物を洗濯・脱水槽の中に入れるときは	●重いものが片寄らないように、洗濯物は洗濯・脱水槽の外側に均一に広げて入れてください。 ●洗濯物を詰め込み過ぎないでください。
洗濯ネットを使うときは	●洗濯ネットには洗濯物を詰め込み過ぎないでください。汚れ落ちが悪くなります。 ●洗濯ネットのファスナーは閉めてください。洗濯物を傷める場合があります。 ●一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。異常振動や洗濯物の片寄りの原因になります。
大物(シーツ、タオルケット)や厚手の洗濯物(ジーンズ、柔道着、つなぎなど)、洗濯ネットに入れた洗濯物は	●一つだけでは洗濯しないでください。2、3枚一緒に洗うか、ほかの洗濯物と一緒に洗ってください。 ●先に洗濯・脱水槽に入れてから、ほかの洗濯物を入れてください。

洗濯物の重さの目安

洗濯物の重さを確認するための目安です。
洗濯物の素材や大きさにより、実際の重さは異なりますので注意してください。

	肌着類	シャツ・ズボン類	タオル・寝具類
50g	 ブリーフ	 靴下	
100g	 肌着		 タオル
200g		 ワイシャツ	
300g			 バスタオル
400g		 パンツ	 スカート
500g			 シーツ
			 パジャマ上下

洗濯物の重さの目安は、一般財団法人日本電気工業会・自主基準によるものです。

洗剤や柔軟剤の使いかた

洗剤や柔軟剤は、手順に従い、適量を投入口に入れてください。

洗濯物の量の計測と水量表示

洗濯物の量は自動計測され、それに合わせた水量が表示されます。

1

洗濯物を洗濯・脱水槽に入れる

2

電源を入れ、運転するコースを選び、

スタート
一時停止

を押す

かくはん翼と洗濯・脱水槽が回転し、洗濯物の
量が自動計測されます。

あらかじめ水が入っている場合や、「毛布」「ドライ」
コースを設定した場合は、洗濯物の量は自動計測さ
れません。

洗濯物の量に合わせた水量が表示されます。
「毛布」「ドライ」コースは、水量に合わせて表示されます。

点灯

点滅

ランプ点灯時は
57L、40L、30L
を示します

ランプ点滅時は
50L、35L、25L
を示します

57

40

30

50

35

25

洗濯 水(L)

「標準」コース(水量35L)の例

3

右表を参考に洗剤、液体漂白剤、柔軟剤
を入れ、ふたを閉める

洗剤・液体漂白剤・柔軟剤の入れかた
→(P.18)

ふたが開いていると給水されません。
ふたを閉めると給水が始まります。

洗濯物 の量 (目安)	水量 (手動設定)		洗剤量 (目安) 表示
	7WY	6WY	
~7kg	57L	—	
~6kg	—	53L	
3~5kg	50L	—	
3~4kg	—	45L	
2~3kg	40L	40L	
	35L	35L	
1~2kg	30L	30L	
~1kg	25L	25L	

洗剤および洗濯物の量

- 香りの強い柔軟剤を使用すると、においが気になる場合があります。
- 表の洗濯物の量は、JIS（日本工業規格）で規定された布地を洗濯した場合のものです。
洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗濯物の量が変わります。
通常の洗濯では洗濯物の量の目安は7～8割が適当です。

洗剤・液体漂白剤・柔軟剤量

操作パネルに表示された水量表示に従って、使用する洗剤・液体漂白剤・柔軟剤の使用量を確認し、適量を投入口に入れてください。

合成洗剤						石けん (天然油脂)		液体 漂白剤	柔軟剤			
粉末		液体			液体中性	粉末	液体		濃縮			普通
(水30Lあたり)		(水30Lあたり)			(水30Lあたり)	(水30Lあたり)		(水30Lあたり)	(水30Lあたり)			
20g	25g	10mL	20mL	25mL	40mL	36g	40mL	40mL	4mL	7mL	10mL	20mL
アタック	アタック リセットパワー ニュービーズ ボールド トップ 部屋干しトップ 消臭ブルーダイヤ	トップハイジア 香りつづくトップ アロマプラス ウルトラ アタックネオ トップナノックス アリエール スピードプラス	アリエール イオンパワー ジェル トップ クリア リキッド	フレグランス ニュービーズ ジェル アタック バイオジェル 香りつづくトップ	エマール アクロン	そよ風	洗濯用 液体複合 石けん	手間なし ブライト ワイド ハイター	ハミング Neo	ハミング (濃縮タイプ) ふんわり ソフラン	ハミングフレア しわスッカリ ソフラン 香りとデオドラ ントのソフラン	ハミング レノア プラス
38 _g	47 _g	19 _{mL}	38 _{mL}	47 _{mL}	76 _{mL}	68 _g	76 _{mL}	76 _{mL}	8 _{mL}	13 _{mL}	19 _{mL}	38 _{mL}
35 _g	44 _g	18 _{mL}	35 _{mL}	44 _{mL}	71 _{mL}	64 _g	71 _{mL}	71 _{mL}	7 _{mL}	12 _{mL}	18 _{mL}	35 _{mL}
33 _g	42 _g	17 _{mL}	33 _{mL}	42 _{mL}	67 _{mL}	60 _g	67 _{mL}	67 _{mL}	7 _{mL}	12 _{mL}	17 _{mL}	33 _{mL}
30 _g	37 _g	15 _{mL}	30 _{mL}	37 _{mL}	60 _{mL}	54 _g	60 _{mL}	60 _{mL}	6 _{mL}	11 _{mL}	15 _{mL}	30 _{mL}
27 _g	33 _g	13 _{mL}	27 _{mL}	33 _{mL}	53 _{mL}	48 _g	53 _{mL}	53 _{mL}	5 _{mL}	9 _{mL}	13 _{mL}	27 _{mL}
23 _g	29 _g	12 _{mL}	23 _{mL}	29 _{mL}	47 _{mL}	42 _g	47 _{mL}	47 _{mL}	5 _{mL}	8 _{mL}	12 _{mL}	23 _{mL}
20 _g	25 _g	10 _{mL}	20 _{mL}	25 _{mL}	40 _{mL}	36 _g	40 _{mL}	40 _{mL}	4 _{mL}	7 _{mL}	10 _{mL}	20 _{mL}
17 _g	21 _g	8 _{mL}	17 _{mL}	21 _{mL}	33 _{mL}	30 _g	33 _{mL}	33 _{mL}	3 _{mL}	6 _{mL}	8 _{mL}	17 _{mL}

- 家庭用品品質表示法の改正に伴い、メーカーにより洗剤の標準使用量(水30Lに対し〇〇g)が表示されていないこともあります。
また、洗剤の種類により、スプーンまたはキャップ1杯の洗剤量が異なりますので、洗剤の容器に表示されている「使用量の目安」を参考にしてください。
- 軽い汚れの場合は、上の表の半分程度(5～6割)が適当です。

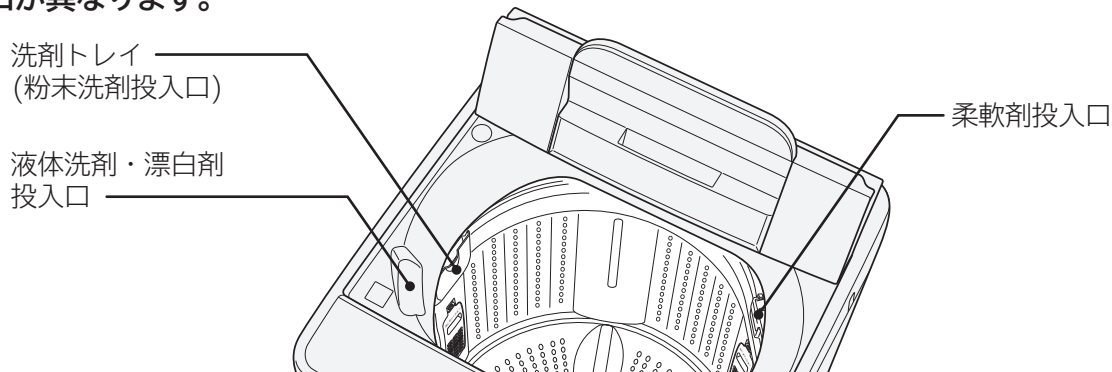
洗剤や柔軟剤の使いかた つづき

洗剤・液体漂白剤・柔軟剤の入れかた

粉末洗剤は洗剤トレイ、液体洗剤・液体漂白剤は液体洗剤・漂白剤投入口、柔軟剤は柔軟剤投入口に正しく入れてください。

洗剤トレイ・液体洗剤・漂白剤投入口・柔軟剤投入口

投入口が異なります。



- 天然粉末石けん、複合石けんを使う場合は、洗剤トレイに入れないでください。
石けん(天然油脂)の入れかた→(P.20)
- 洗剤トレイ、柔軟剤投入口が汚れたときは、水洗いしてください。お手入れのしかた→(P.57)

粉末洗剤・液体洗剤・液体漂白剤・柔軟剤を入れる手順

1	操作パネルに水量が表示されたあと 洗剤トレイを開ける	
2	〈粉末洗剤〉 洗剤トレイに入れる 洗剤量は洗剤量(目安)表示に従って 入れてください。→(P.16)	●洗剤を入れ過ぎると、故障や水漏れの原因になります。 ●柔軟剤投入口に、洗剤を入れないでください。 故障の原因になります。 ●固まっている洗剤は、砕いてから入れてください。 洗剤トレイに洗剤が残るときがあります。 ●粘性の高い液体洗剤は、洗剤残りを少なくするため、 水で薄めてから投入口に流し込んでください。 ●タブレット、シート、キューブタイプなどの洗剤を使用 する場合は、よく溶かしてから直接、洗濯・脱水槽内に 入れてください。 ●ジェルボールなどの洗剤は、直接、洗濯・脱水槽に入れ てください。 ●洗剤トレイに洗剤を長時間入れたままにしないでください。 洗剤が固まって、給水中の水漏れの原因になります。
	〈液体洗剤〉 液体洗剤・漂白剤投入口に 入れる 洗剤量は洗剤量(目安)表示に従って 入れてください。→(P.16)	
3	(必要に応じて) 液体漂白剤を液体洗剤・漂白剤投入口に入れる	●使用量および使いかたは、漂白剤の表示に従ってください。 ●液体漂白剤は直接、洗濯物にかけないでください。 変色、布破れの原因になります。 ●塩素系の漂白剤を洗濯・脱水槽に入れたまま、長時間放置しないでください。

4

洗剤トレイを閉める

洗剤トレイはしっかり閉めてください。
(開いていると、洗濯物を傷めたり、洗剤トレイが破損するおそれがあります)

5

**(必要に応じて柔軟剤投入口のふたを開ける)
柔軟剤を投入口に入れる**

- 柔軟剤を入れ過ぎないでください。
(最大40mL以下)
流れ出して洗濯物に直接かかり、変色や黒ずみの原因になります。
- 次のような洗剤や柔軟剤は、においが気になる場合があります。
 - ・香りの強いもの
 - ・粘性の高いもの次のことをお試しください。
 - ・洗剤や柔軟剤の使用量を減らしてください。
 - ・香りの強いもの以外をお試しください。
 - ・「槽洗浄」で、洗濯・脱水槽を洗い流してください。→(P.48)
- 柔軟剤を入れたまま長時間放置しないでください。
固まってしまう場合があります。

6

柔軟剤投入口を閉める

柔軟剤投入口は、しっかり閉めてください。

洗剤や柔軟剤の使いかた つづき

石けん(天然油脂)の入れかた

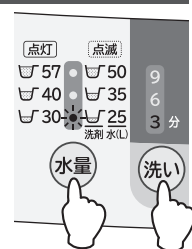
天然粉末石けん、複合石けんなどは、洗剤トレイに入れないでください。
次のいずれかの方法でよく溶かしてから、直接、洗濯・脱水槽に入れてください。

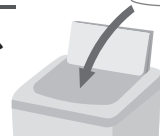
バケツなどで溶かす

- 1 バケツなどに、30℃ぐらいのぬるま湯を約5L用意する
- 2 ぬるま湯に石けん(天然油脂)を少しずつ入れながら、十分に溶かす
石けん(天然油脂)が固まったり、粉が残ったりしないよう、十分溶かします。

- 3 洗濯物を入れ、コースを選ぶ
- 4  を押し、運転させる
- 5 溶かした石けん液を直接、洗濯・脱水槽に入れ、運転を続ける


直接、洗濯・脱水槽で溶かす

- 1  を押し、電源を入れ、 を押し、「標準」コースを選ぶ
- 2   を押し、水量「25L」、 洗い「3分」を設定する

- 3  を押し、運転させる
- 4 給水後、かくはんが始まったら、 を押し、一時停止させる
- 5 石けん(天然油脂)を洗濯・脱水槽に入れ、 を押し、運転を再開させる

- 6 運転終了後、洗濯物を入れ、コースを選ぶ

- 7  を押し、運転させる
洗いのとき、あらかじめ水が入っているので、水量が多めになります。

次の場合は石けん(天然油脂)を使用しないでください。

- 予約運転のとき
洗濯・脱水槽で固まるおそれがあります。
- 「毛布」「ドライ」コースのとき
つけおき洗いにより、黒ずみや黄ばみの原因になります。

- 石けん(天然油脂)を使うとき、合成洗剤を約1割混ぜると、石けんかす(金属石けん)の発生を抑えることができます。
- 石けん(天然油脂)は合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎを十分に行ってください。
すすぎが十分でないと黄ばみ・においの原因や変色することがあります。
- 石けん(天然油脂)は石けんかすが発生しやすいため、1か月に一度を目安に日立純正洗濯槽クリーナーを使い、「槽洗浄」で洗濯・脱水槽を洗い流してください。→(P.48)
- 使用量が多過ぎたり、低温の水に直接入れると、完全に溶けない石けんかすがホースや洗濯・脱水槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。
- 合成洗剤のみの場合は、「直接、洗濯・脱水槽で溶かす」に記載の方法で運転しないでください。
泡による弊害が起こる場合があります。
- 液体石けん(天然油脂)は、水で溶かしたまま放置しないでください。固まるおそれがあります。

洗濯のりの使いかた

洗濯できる洗濯のりは、化学合成のり(酢酸ビニール系、PVAc)と表示されているものに限りです。

洗濯のりの入れかた

- 上記以外の洗濯のりは、故障の原因となるおそれがあります。使用する前に成分表示を確認してください。
- PVA(ポリビニルアルコール)は使用しないでください。十分なのり付けができない場合や、本体の故障の原因になるおそれがあります。

のり付け運転の手順

のりを溶かす

- 1 を押し、電源を入れ、 を押し、「標準」コースを選ぶ
- 2 を押し、水量「25L」、洗い「3分」を設定する
- 3 を押し、運転させる
- 4 給水が始まったら を押し、一時停止させる
- 5 直接、洗濯・脱水槽に洗濯のりを入れ、 を押し、運転を再開させる
運転終了後、洗濯のりが溶けたことを確認します。

のり付けをする

- 6 のり付けしたい洗濯物(1.2kg以下)を入れる
洗濯物の重さの目安→(P.15)
- 7 を押し、電源を入れ、 を押し、「標準」コースを選ぶ
- 8 を押し、水量「40L」、洗い「6分」、脱水「1分」を設定する
- 9 を押し、運転させる
- 10 洗濯物を取り出す

洗濯・脱水槽をすすぐ

- のり付け運転終了後に
- 11 を押し、電源を入れ、 を押し、「標準」コースを選ぶ
 - 12 を押し、「57L」を設定する
〔NW-6WYは「53L」〕
 - 13 を押し、運転させる

念入りに洗い流したいときは

- 11 を押し、電源を入れ、 を押し、「槽洗浄」を選ぶ→(P.48)
洗剤、洗濯物はいれなくてください。
- 12 を押し、運転させる

洗剤や柔軟剤の使いかた
洗濯のりの使いかた

風呂水(お湯取)を使う

洗濯運転時に、水道水の代わりに風呂水を使う行程を選ぶことができます。

お湯取ホースの取り付けかた・取り外しかた

お湯取運転をするときも、水栓(蛇口)を開けてください。

風呂水ポンプの吸水上げ運転の際、一定量の水(呼び水)の給水が必要になるため、お湯取運転時にも水道水が使われます。

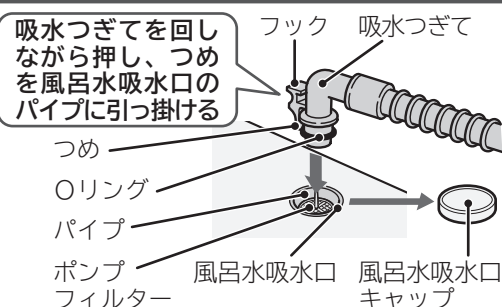
お湯取ホースの取り付けかた

別冊「据付説明書」に従い、お湯取ホースの長さを調節し、クリーンフィルターを取り付けてください。
→(据付説明書 P.14)

1 風呂水吸水口のキャップを外す

2 お湯取ホースの吸水つぎてを、風呂水吸水口に取り付ける

- 吸水つぎてのつめをパイプに引っ掛け、抜けないことを確認してください。
- Oリングを外したり、傷つけたりしないでください。外すと空気が入り込み、吸水されなくなります。
- 風呂水吸水口のポンプフィルターを中に押し込まないように注意してください。



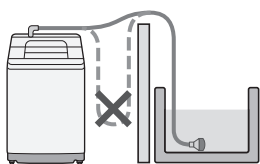
3 クリーンフィルターを浴槽に入れる

お湯取ホース使用時のご注意

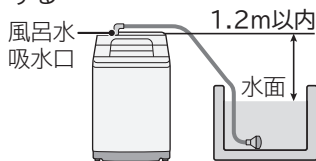
お湯取運転を始める前に、お湯取ホースが正しく取り付けられているかを確認してください。

正しく取り付けられていないと、風呂水が吸水されなくなり、水漏れの原因になります。

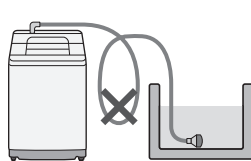
高い壁を越えるときは、たるみをなくす



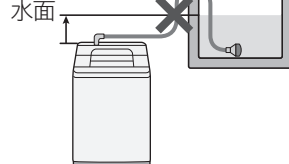
風呂水吸水口から浴槽水面までの高さは、1.2m以内にする



お湯取ホースは巻いたまま使わない



本体より浴槽水面が高い状態にしない(あふれるおそれ)



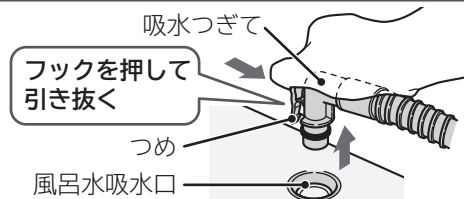
お湯取ホースの取り外しかた

長期間お湯取ホースを使用しないときは、本体から取り外しておくことをおすすめします。

1 浴槽からクリーンフィルターを取り出す

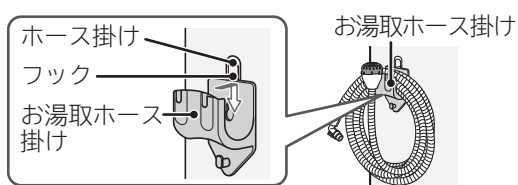
2 吸水つぎてを、風呂水吸水口から取り外し、ホース内の水を抜く

吸水つぎてを取り付けたまま、お湯取ホースを持ち上げないでください。ホース内の残水が洗濯・脱水槽に逆流して、洗濯物をぬらすおそれがあります。



3 クリーンフィルター部を上向きにして、お湯取ホース掛けにかける

お湯取ホース掛けの使いかた→(据付説明書 P.15)
お湯取ホースやクリーンフィルター内の残水は排水してください。床面をぬらすおそれがあります。



お湯取運転の設定

風呂水の吸水状態により、水道水のみで運転したときよりも運転時間が長くなることがあります。

お湯取運転の設定手順

1

水栓(蛇口)を開け、**切/入** を押し、電源を入れる

2

洗濯 を押し、コースを選ぶ

「ドライ」コースでは、お湯取設定できません。

3

お湯取 を押し、お湯取運転したい行程の表示を点灯させる

押すごとに表示が切り替わります。

パネルの表示	行程内容
	「洗い」のみ風呂水(お湯取)吸水します。
	「洗い」と「すすぎ1」(1回目)を風呂水(お湯取)吸水します。
	「洗い」から「すすぎ2」(2回目)まで風呂水(お湯取)吸水します。
	風呂水(お湯取)吸水しません。

ただし、次のような場合は、お湯取設定できません。

- ・ 洗い行程を水道水に設定した場合のすすぎ行程
- ・ すすぎ3回目

4

スタート一時停止 を押し、運転させる

- 設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
- 工場出荷時は「お湯取設定を記憶しない」に設定されています。変更した内容を次回運転時まで記憶させたい場合は、「お湯取設定を記憶する」に切り替えてください。→(P.52)

お湯取運転中の注意

風呂水の吸水状態により、水道水運転よりも運転時間が長くなることがあります。

お湯取運転中に風呂水がなくなると、自動で水道水給水に切り替わります。

- ・ 途中で風呂水がなくなった場合や、正しく風呂水吸水されない場合は、風呂水ポンプが作動してから約12分後に自動で水道水給水に切り替わるため、運転時間が長くなります。
水道水に切り替わった後の運転は、すべて水道水給水されます。
- ・ 発泡、ゼリー、とろみタイプの入浴剤の入った風呂水は使用しないでください。
吸水されない場合があります。

風呂水(お湯取)を使う つづき

運転中に一時停止させ、お湯取する行程を変更、または手動で水道水給水に切り替えることもできます。

運転中にお湯取運転を変更させる手順

1 洗いやすすぎの給水中に、 を押し、一時停止させる

2  を押し、お湯取運転したい行程に変更する
表示をすべて消すと、水道水給水に切り替わります。

3  を押し、運転を再開させる

お湯取運転の清水すすぎ

最終のすすぎ行程を「お湯取」に設定した場合、すすぎ行程の最後に自動で水道水のすすぎ運転が行われます。

- 工場出荷時は「清水すすぎの設定なし」が設定されています。→(P.50)
- 清水すすぎに使用する水道水は約6Lです。ためすすぎにはなりません。
- 最終すすぎに水道水を設定した場合は、清水すすぎはできません。
- すすぎ3回目はお湯取設定できないため、清水すすぎもできません。

運転コースの選びかた

コース・運転	洗濯物の種類	運転方法(最大洗濯・風脱水容量)			おすすめ洗剤 →(P.17) (槽乾燥、風脱水は除く)
		洗濯	部屋干し	風脱水	
標準	普段の洗濯物 ・パジャマ ・肌着など 	7WY:7kg 6WY:6kg	7WY:7kg 6WY:6kg	—	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
すすぎ1回	すすぎ1回の専用洗剤で洗濯したいもの ・ワイシャツ ・パジャマなど 	7WY:7kg 6WY:6kg	7WY:7kg 6WY:6kg	—	すすぎ1回 専用洗剤
おいそぎ	軽い汚れを短時間で洗濯したいとき ・パジャマ ・肌着など 	7WY:3.5kg 6WY:3kg	7WY:3.5kg 6WY:3kg	—	(スピードコース用) 粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
手造り	自分でコースを作る ・普段の洗濯物 	7WY:7kg 6WY:6kg	7WY:7kg 6WY:6kg	—	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
毛布	毛布や掛け布団など ・アクリル毛布 ・掛け布団 ・ベッドパッドなど 	毛布:4.2kg 掛け布団:1.8kg	毛布:4.2kg 掛け布団:1.8kg	—	液体合成洗剤
ドライ	ドライマーク付きの洗濯物 ・スカート ・セーターなど 	1.2kg	—	—	ドライマーク 衣類専用洗剤 または 液体中性洗剤
予約	出かけている間や、夜間に運転させたいときに 	7WY:7kg 6WY:6kg	—	—	粉末合成洗剤
槽洗浄	洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるとき ・洗濯物はいれなくてください。 	11時間	—	—	日立純正洗濯槽 クリーナー または 衣類用塩素系漂白剤
槽乾燥	洗濯・脱水槽のカビの発生を防止したいとき ・洗濯物はいれなくてください。 	—	—	30分	—
風脱水	少量の洗濯物の仕上げや、熱に弱い素材(化繊)の洗濯物を風脱水するとき ・ランジェリーなど 	—	—	化繊:2kg	—

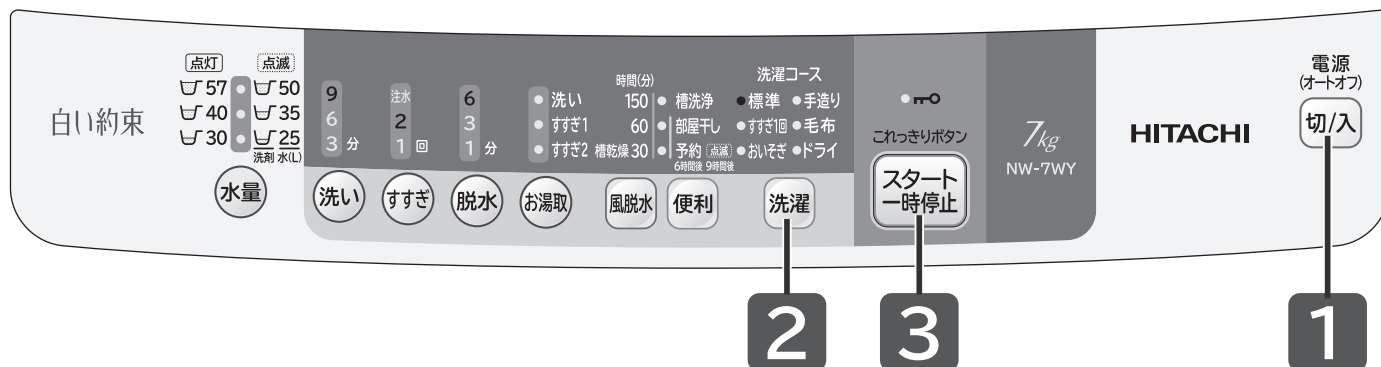
風呂水(お湯)を使う

運転コースの選びかた

洗濯する

洗濯するときの手順です。お好みのコースを選ぶことができます。

使いかた



準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14、15)

1

切/入 を押し、電源を入れる

2

洗濯 を押し、コースを選ぶ

押すごとにコースが選べます。

3

スタート 一時停止 を押す

洗濯物の量が自動計測され、水量が表示されます。→(P.16)

洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合や、「毛布」「ドライ」コースでは自動計測されません。

4

水量表示に従って、

洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.16～19)

5

運転終了後、洗濯物を取り出し、

糸くずフィルターをお手入れする→(P.53)

⚠ 注意



脱水異常振動によるけがや、故障などを防ぐために→(P.6)

- 防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水・風脱水をしないでください。
- 毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯をしないでください。
- 一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。

脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、洗濯機や周囲の壁や床などを破損するおそれがあります。

詳細設定

コースを選んだあと、行程の変更や各機能の設定・解除ができます。
お好みに合わせて設定してください。
(コースによっては変更・設定できないこともあります)

コース (最大洗濯容量)	行程	水量	お湯取 風呂水を使うとき	便利 予約を使うとき	便利 部屋干しを使うとき
標準 7WY:7kg 6WY:6kg	洗い すすぎ 脱水 を設定する (変更できない こともあります) →(P.29)	変更できる →(P.29)	設定する →(P.22)	設定する →(P.42)	設定する →(P.44)
すすぎ1回 7WY:7kg 6WY:6kg					
おいそぎ 7WY:3.5kg 6WY:3kg					
手造り 7WY:7kg 6WY:6kg					
毛布 毛布:4.2kg 掛け布団:1.8kg					
ドライ 1.2kg			設定できない	設定できない	設定できない

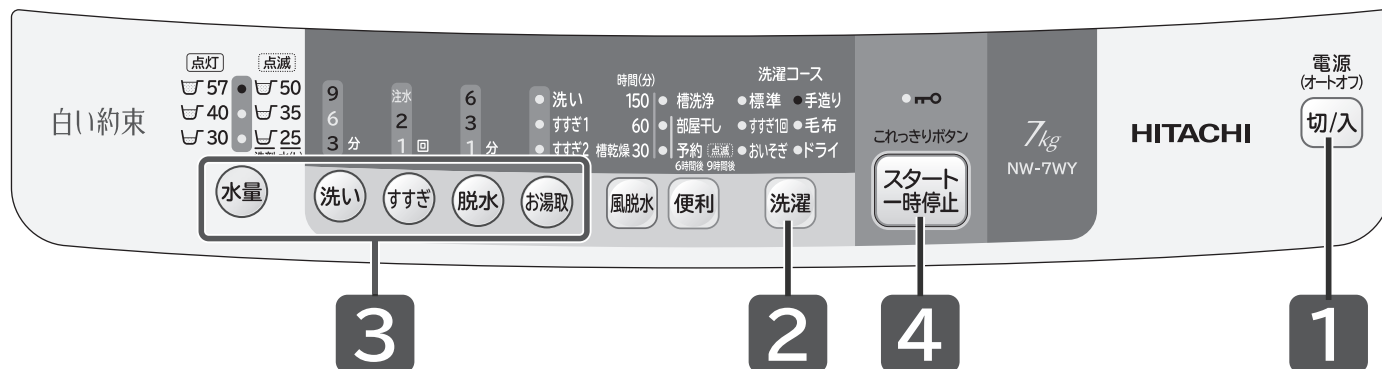
洗濯する

手造りコースを使う(自分でコースを造る)

好みの運転内容に設定して、記憶させることができます。

使いかた

運転内容を変更する場合



準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14、15)

1

切/入 を押し、電源を入れる

2

洗濯 を押し、「手造り」コースを選ぶ

3

水量 **洗い** **すすぎ** **脱水** **お湯取** いずれかを押し、行程内容を設定する

予約する→(P.42)

部屋干しする→(P.44)

4

スタート一時停止 を押す

スタートボタンを押すと、設定が記憶されます。

5

水量表示に従って、
洗剤、**漂白剤**、**柔軟剤**を入れてふたを閉める→(P.16～19)

6

運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルターをお手入れする→(P.53)

お好みの設定で運転する つづき

洗い・すすぎ・脱水の個別運転

洗い・すすぎ・脱水を設定したり、それぞれを組み合わせで運転させることができます。
設定内容は記憶されないの、よく使うコースは「手造り」コースに登録すると便利です。→(P.28)

洗濯液を2度使うとき

1 洗いのみを運転する

1回目は汚れの少ないものを洗う

水量に合わせて洗剤を入れます。

2 お好みのコースを運転する

2回目は汚れの多いものを洗う

洗濯物に応じた水量を設定します。

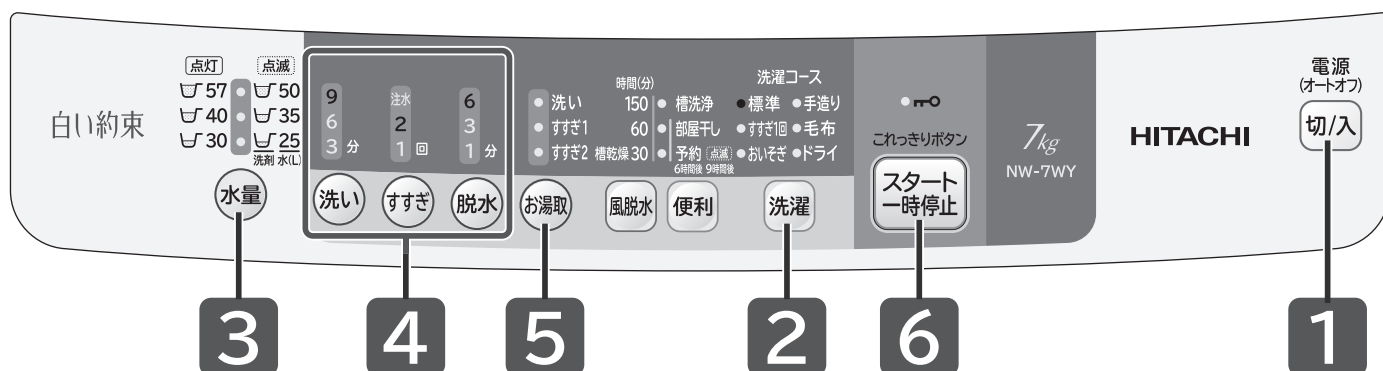
3 すすぎ→脱水を運転する

1回目の洗濯物をすすぎ→脱水する

1回目と同じ水量を選びます。

こんな場合に	1	2	3
お好みの内容で洗濯する 洗い→すすぎ→脱水			
洗濯を分けて洗う 洗いのみ			
洗濯・脱水槽に水をためる 風呂水をためる			
しわが気になる洗濯物を脱水しない 洗い→すすぎ			
のり付けをする→(P.21) 洗い→脱水			
洗った洗濯物をすすぐ すすぎのみ			
洗った洗濯物をすすいで脱水する すすぎ→脱水			
干す前に脱水する 脱水のみ			
洗濯・脱水槽の水を排水する 排水のみ			
洗濯・脱水槽に水をためる 水道水をためる			

「標準」コース以外で個別運転をする場合は、運転しない行程のボタンを押し、表示を消すと個別運転ができます。
(できない行程もあります)→(P.27)



4 各ボタンで内容を設定する	5	6	終了
洗い →すすぎ→脱水→	お湯取 設定できる (風呂水を使わないときは6へ進む)	スタート 一時停止 を押す	洗濯～脱水を設定した内容で運転します。
洗い →			洗濯液が残ったまま停止します。
洗い →すすぎ→			風呂水をためたまま停止します。
すすぎ →			すすぎ液が残ったまま停止します。
すすぎ →脱水→			すすぎをせずに洗いと脱水をします。
排水・脱水動作をしてからすすぎの給水を始めます。 すすぎ →			すすぎの前に排水、脱水し、すすぎ液が残ったまま停止します。
排水・脱水動作をしてからすすぎの給水を始めます。 すすぎ →脱水→	設定できない		すすぎの前に排水、脱水し、その後、すすぎ、脱水をします。
排水のみは脱水ボタンで「1分」を選び、脱水が始まったら一時停止ボタンを押してください。 脱水 →			排水して、脱水します。
洗い、すすぎ、脱水ボタンを押して、すべて設定なし(表示を消灯)にしてください。 洗い →すすぎ→脱水→			水道水をためたまま停止します。
※洗剤はあらかじめ溶かしてください。			

お好みの設定で運転する

お好みの設定で運転する つづき

運転内容と変更できる内容

標準設定内容 切り替えできる内容

コース	水量		洗い	すすぎ	
	7WY	6WY		1回目	2回目
標準	25～57L	25～53L	9分	回転シャワーすすぎ※1	ためすすぎ
	25～57L	25～53L	3～12分	ためすすぎ1～3回、注水すすぎ1～3回※2	
すすぎ1回	25～57L	25～53L	9分	ためすすぎ	—
	25～57L	25～53L	3～12分	注水すすぎ	
おいそぎ	25～40L	25～40L	6分	ためすすぎ	—
	25～57L	25～53L	3～12分	ためすすぎ1～3回、注水すすぎ1～3回※2	
手造り	25～57L	25～53L	12分	ためすすぎ	ためすすぎ
	25～57L	25～53L	3～12分	ためすすぎ1～3回、注水すすぎ1～3回※2	
毛布	57L	53L	25分 (表示は全点灯)	ためすすぎ	ためすすぎ
	25～57L	25～53L			
ドライ	30L		9分	ためすすぎ	ためすすぎ
	25、30、35L				

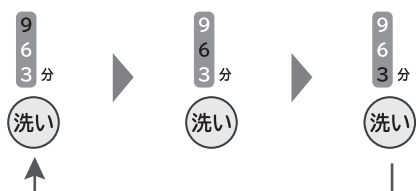
- ※1 風呂水設定時は、ためすすぎになります。
- ※2 ためすすぎまたは注水すすぎを「1～3回」まで設定することができます。
- 所要時間の目安は給水時間(給水量毎分15L)、排水時間を含みます。(本体の残時間表示と上表の所要時間の目安は、水道水圧、洗濯物の量、排水条件などにより異なります)
 - 所要時間の目安時間は、室温20℃、水温20℃で運転した場合です。
 - 「標準」「すすぎ1回」「おいそぎ」「手造り」コースは、洗濯物の量を自動計測して、最適な洗濯内容を決定します。
 - スタートしたあと、コースの切り替えはできません。
一度電源を切ってから行ってください。
 - 運転スタート後に洗い時間・水量を変更するときは、「一時停止」を押してから変更してください。ただし、洗いの行程が終わると変更できません。
 - 給水開始から設定水位に達する間は、各ボタンの変更はできません。
 - NW-6WYの所要時間の目安は、約1分短くなります。
()は手動で切り替え設定したときの所要時間の目安です。

脱水	便利	所要時間の目安 (実際の時間とは異なる場合があります)	
洗濯	部屋干し	洗濯	部屋干し
6分※3	30分	43分	64分
1～9分		(21～64分)	(50～85分)
6分※3	30分	36分	57分
1～9分		(21～40分)	(50～61分)
3分	30分	25分	52分
1～9分		(21～64分)	(50～85分)
9分	30分	52分	73分
1～9分		(21～64分)	(50～85分)
6分	30分	62分	86分
1～9分		(50～65分)	(79～86分)
1分	—	30分	—

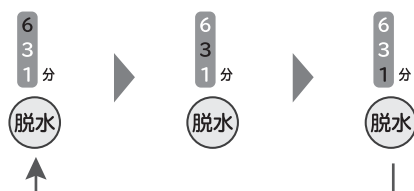
※3 洗濯物の重さによって洗濯の途中から9分になる場合があります。

表示の見かた

- 「毛布」コース／「槽洗浄」
洗い運転中



- 「部屋干し」／「槽洗浄」
脱水運転中



毛布コースで洗濯する

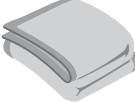
毛布など大物の洗濯物を洗うコースです。

かくはん翼を回転させずに、洗濯・脱水槽だけを回す槽回転水流で、洗濯物を傷めず洗い上げます。

- 毛布、掛け布団、ベッドパッド、カーテンなどを洗濯するときは、「毛布」コース以外では運転しないでください。毛布などを傷めてしまうおそれがあります。
- 大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねて洗濯しないでください。→(P.6)
毛布などの洗濯物のかたまりが脱水中にバランスをくずし、異常振動が発生するおそれがあります。
毛布・掛け布団の入れかた→(P.36)に従って入れてください。
- 「毛布」コースでは、洗濯物の量は自動計測されません。

洗濯の準備

洗濯できるもの

	毛 布	掛け布団
素 材	アクリル、またはポリエステル	詰め物素材がポリエステル100%
取扱絵表示	 (弱い手洗いが良い)表示	詰め物素材が羽毛の場合  (洗濯機による洗濯ができる)または  (弱い手洗いが良い)表示
サイズ	幅180cm×長さ230cm (ダブルサイズ)以下 1枚の重さが 4.2kg以下 	掛け布団(シングルサイズ) 幅150cm×長さ210cm以下 肌掛け布団(ダブルサイズ) 幅190cm×長さ210cm以下 詰め物の重さ 1.8kg以下 
洗濯できないもの	●羊毛(ウール)やカシミア素材のもの ●電気毛布 洗濯できる電気毛布は、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。	●詰め物素材が羊毛(ウール)のもの ●カバー材質が絹のもの

そのほか、 (弱い手洗いが良い)表示のベッドパッド、カーテン(4.2kg以下)も洗濯できます。

使用する洗剤

液体合成洗剤

液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

お洗濯キャップの使いかた

運転中に洗濯物が浮いてしまうことを防ぐため、別売りのお洗濯キャップが必要になる場合があります。
→(P.69)

お洗濯キャップを使用しないで洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損したりするおそれがあります。
その場合は、保証の対象外になります。

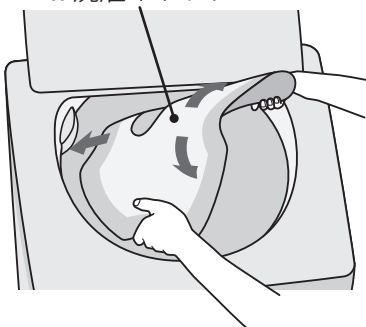
(洗濯物の損傷費用はお客様負担となり、本体の修理は有料となります)

毛 布		掛け布団	
運転できる容量	お洗濯キャップ	運転できる容量	お洗濯キャップ
2.2kg以下	必要ありません	1.8kg以下	必要です
2.2kg～4.2kg	必要です		

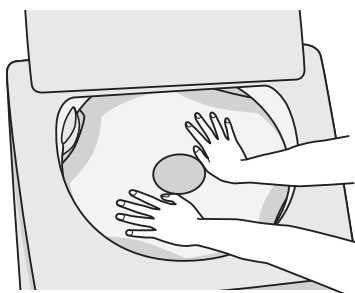
お洗濯キャップの取り付けかた

- 1 お洗濯キャップを曲げ、凹部と洗濯・脱水槽の凸部(糸くずフィルター部)を合わせる

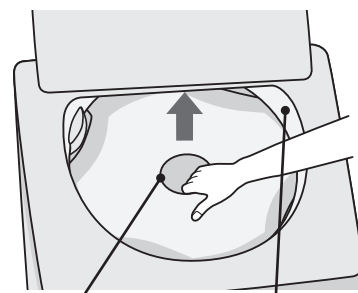
お洗濯キャップ



- 2 図のように、お洗濯キャップ全体を洗濯・脱水槽の中に入れる



- 3 中央リング部を持って、バランスリングのすぐ下まで引き上げる



中央リング部 バランスリング

お洗濯キャップの取り外しかた

- 1 お洗濯キャップの手前を押し下げる



- 2 中央リング部を図のように持ち、矢印の方向に曲げる



- 3 そのまま手前に引くように、持ち上げる



取り付け・取り外しのときは、糸くずフィルターに当たらないように注意してください。
糸くずフィルターが外れたり、破損したりするおそれがあります。

毛布コースで洗濯する つづき

毛布・掛け布団の入れかた

お洗濯キャップを使用するとき

- 1** 毛布、掛け布団の角から、洗濯・脱水槽に少しずつ入れる

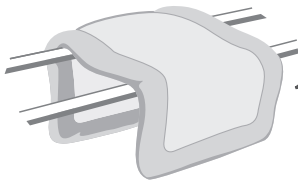


- 2** 掛け布団は中の空気を追い出すように、少しずつ入れる



毛布・掛け布団の干しかた

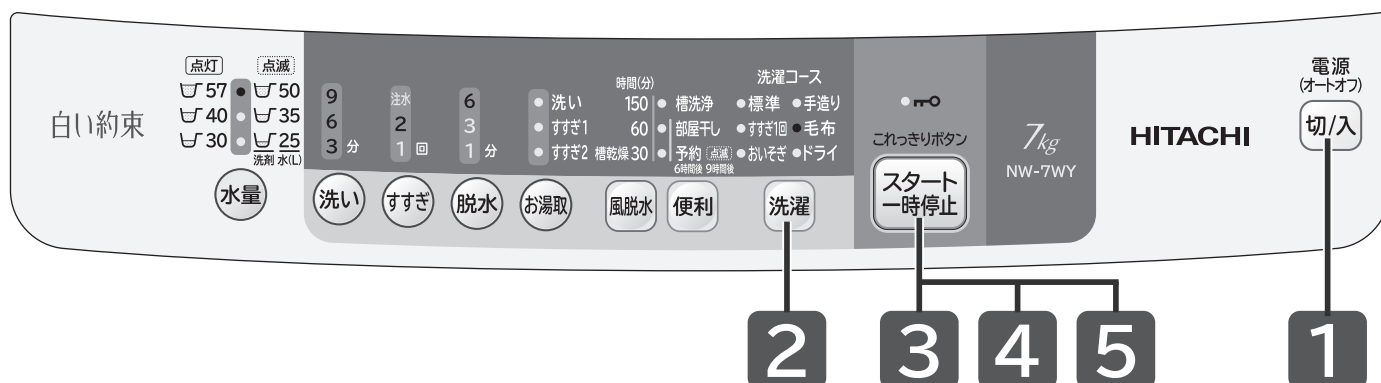
風通しのよいところで自然乾燥させます。（掛け布団の場合は、晴天の日で約4時間かかります）



□形に干すと、
乾きが早くなり
ます

- 毛布 : 湿っているうちにブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。
- 掛け布団 : 時々裏返すと乾きやすくなります。
また、詰め物をつまんでほぐすとふっくら仕上がります。
- 羽毛の掛け布団 : 詰め物の片寄りをほぐしてから干すとふっくら仕上がります。
羽毛の変質と側地の傷みを防ぐため、シーツなどを上に掛けて干してください。

使いかた



準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14、15)

お洗濯キャップ使用時の運転できる容量 →(P.35)

1

切/入 を押し、電源を入れる

2

洗濯 を押し、「毛布」コースを選ぶ

水量は自動で「57L」になります。

〔NW-6WYは「53L」〕

詳細設定→(P.27)

3

ふたを閉め、**スタート一時停止** を押す

4

給水開始後、**スタート一時停止** を押して一時停止し、ふたを開ける

5

液体洗剤、柔軟剤を入れてふたを閉め→(P.16～19)、

スタート一時停止 を押し、運転を再開する

6

運転終了後、洗濯物を取り出し、

糸くずフィルターをお手入れする→(P.53)

毛布コースで洗濯する

掛け布団のえり口など汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤または部分洗い用洗剤を塗布して汚れを落としてください。

ドライコースで洗濯する

 (弱い手洗いが良い)表示のデリケートな衣類や、 (ドライクリーニングができる)表示の衣類を洗うコースです。
かくはん翼を回転させずに、洗濯・脱水槽だけを回す槽回転水流で、洗濯物をやさしく洗い上げます。
「ドライ」コースでは、洗濯物の量は自動計測されません。

洗濯の準備

洗濯できるもの

素 材	ウール、ポリエステル ●セーター、カーディガン ●スラックス、スカート ●ブラウス、シャツ、ワンピース ●学生服、セーラー服
取扱絵表示	●  (弱い手洗いが良い)表示 ●  (洗濯機による洗濯ができる)表示 ●  (ドライクリーニングができる)表示と、  または  表示の組み合わせ 上記の絵表示があっても、洗えないものがあります。→(P.14)
容量	1.2kg以下
洗濯できないもの	 (水洗いはできない)表示のもの、  (溶剤は石油系のものを使用する)表示のものは、洗濯機で洗濯できません。

使用する洗剤

取扱絵表示	使用する洗剤
 (ドライクリーニングができる)	ドライマーク衣類専用の液体洗剤(エマール、アクロンなど)
 (弱い手洗いが良い)	ドライマーク衣類専用の液体洗剤(エマール、アクロンなど)
	液体中性洗剤(ナノックス、香りつづくトップなど)

液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

お洗濯キャップの使いかた

運転中に洗濯物が浮いてしまうことを防ぐため、別売りのお洗濯キャップが必要になる場合があります。
→(P.69)

お洗濯キャップを使用しないで洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損したりするおそれがあります。
その場合は、保証の対象外になります。

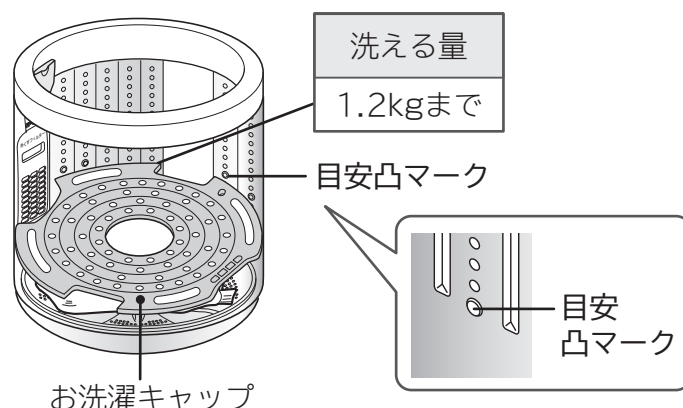
(洗濯物の損傷費用はお客様負担となり、本体の修理は有料となります)

運転できる容量	お洗濯キャップ
0.4kg以下	必要ありません
0.4kg～1.2kg	必要です

お洗濯キャップの取り付けかた・取り外しかた→(P.35)

- 洗濯物は洗濯・脱水槽に均一に入れて、お洗濯キャップでおさえてください。
- お洗濯キャップの取り付け・取り外しのときは、お洗濯キャップが糸くずフィルターに当たらないように注意してください。糸くずフィルターが外れたり、破損したりするおそれがあります。

お洗濯キャップの取り付け位置の目安



洗濯物の前処理

洗濯物の準備

洗濯物の傷みを防ぐため、洗濯前に下記の準備をしてください。

- ボタンやしゅうがついている洗濯物は裏返しにしてください。
- ボタンやファスナーは閉めてください。
- 洗濯後、縮みが大きくなった場合に備え、元の形に修正するための型紙を取っておくと便利です。

色落ちの確認

色落ちしそうな洗濯物は、あらかじめ色落ちの確認をしてください。

- 白いタオルなどに洗剤液を含ませ、洗濯物の目立たない部分に強く押し当てて、洗濯物からタオルに色移りしないか確認してください。色移りがあった場合は、洗濯しないでください。
- 色落ちしやすい洗濯物(スカーフ、外国製の衣類など)は、注意してください。

ドライコースで洗濯する つづき

洗濯物の前処理（つづき）

前洗い

しみやひどい汚れは早めに処理してください。時間がたつと落ちにくくなります。
洗濯前に部分洗いなどで処理をしておくと、より効果的です。

しみの抜きかた

- ・洗濯物の裏にタオルを当て、洗剤の原液をつけてブラシなどで軽くたたいて落してください。
- ・しみのついた洗濯物は、3倍濃度の洗剤液につけ置きしてください。
- ・それでも落ちないしみ汚れには、漂白剤を使用してください。



漂白剤の種類

酸化型	酸素系 (ワイドハイター、カラーブライトなど)	色・柄物に使えます。 粉末の場合は、毛・絹には使えません。
	塩素系(ハイターなど)	色・柄物には使えません。
還元型 (ハイドロハイター)	水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、ワイシャツのえりの芯地が黄変したときに使います。 色・柄物には使えません。	

使用する前に漂白剤の容器に表示してある注意書きをよくご覧になり、正しく使用してください。

えり、そで口などの脂汚れの落としかた

えり、そで口、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液をつけて、ブラシで一定方向にこすってください。

洗濯物の干しかた・仕上げかた

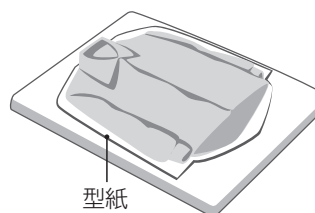
- ウールなどのセーターは、形を整えて日陰で平干しにします。
お風呂のふたなどを使って平干しにすると形くずれを防ぐことができます。
- ブラウスやワンピースは形を整えて日陰でハンガーに干します。
- 洗濯後、縮みや形くずれが発生した場合は、次の方法をお試しください。



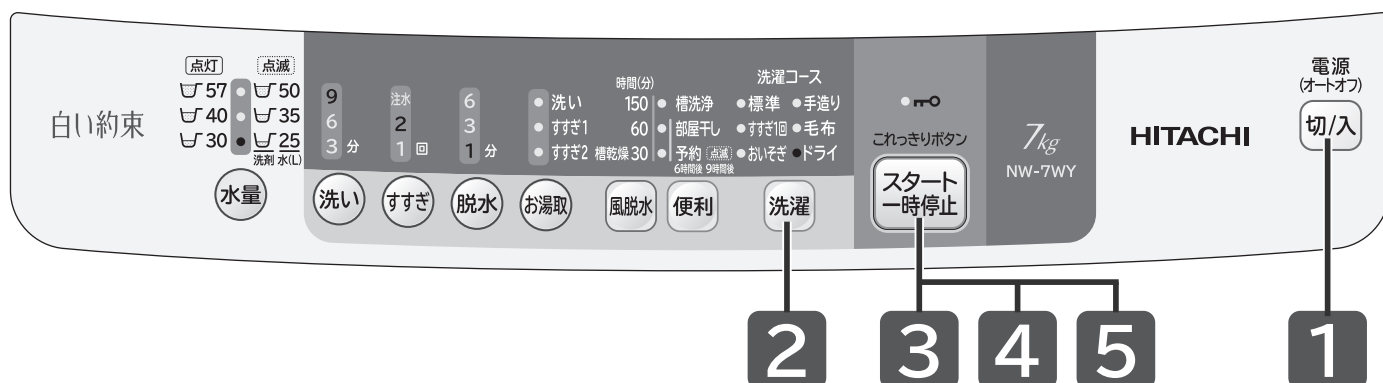
スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整えます。



スチームをたっぷり当てたあと、洗濯前にとっておいた型紙に合わせて、元の形まで伸ばし、形を整えます。



使いかた



準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14、15)

お洗濯キャップ使用時の運転できる容量 →(P.39)

1

切/入 を押し、電源を入れる

2

洗濯 を押し、「ドライ」コースを選ぶ

水量は自動で「30L」になります。

「水量」を変更する→(P.29)

選べる水量:「25L」~「35L」

3

ふたを閉め、**スタート一時停止** を押す

4

給水開始後、**スタート一時停止** を押して一時停止し、ふたを開ける

5

液体洗剤、柔軟剤を入れてふたを閉め→(P.16~19)、

スタート一時停止 を押し、運転を再開する

6

運転終了後、洗濯物を取り出し、

糸くずフィルターをお手入れする→(P.53)

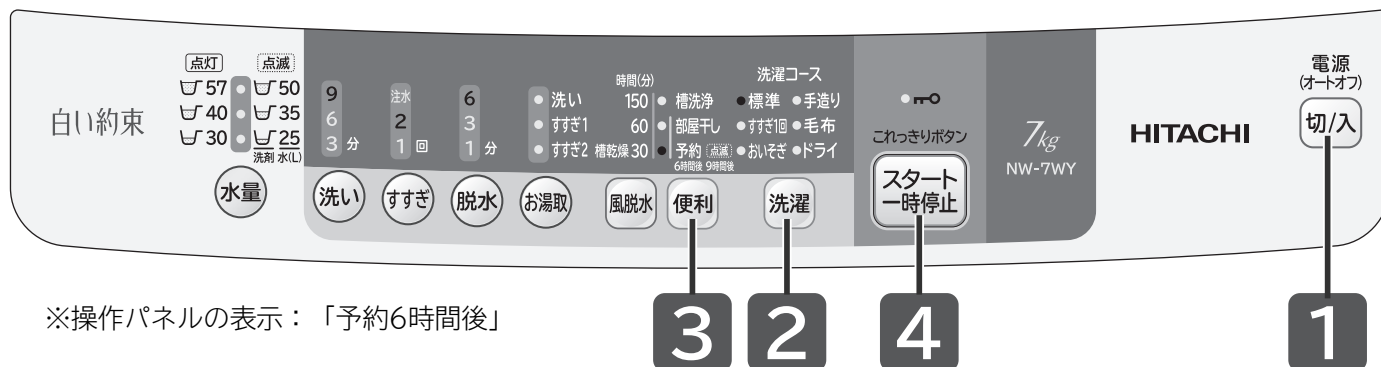
ドライコースで洗濯する

お湯やお風呂の残り湯は使用しないで、水道水を使用してください。
洗濯物の縮みや、入浴剤の色が移るおそれがあります。

予約運転をする

出かけている間や、夜間に運転させたいときなどに便利です。

使いかた



準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14、15)

1

切/入 を押し、電源を入れる

2

洗濯 を押し、コースを選ぶ

押すごとにコースが選べます。

詳細設定→(P.27)

3

便利 を押し、運転終了時間を設定する

4

スタート一時停止 を押す

洗濯物の量が自動計測され、水量が表示されます。→(P.16)

洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合は自動計測されません。

5

水量表示に従って、

洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.16～19)

洗濯内容を表示したあと、「予約」と選んだコースが点灯します。

6

運転終了後、洗濯物を取り出し、

糸くずフィルターをお手入れする→(P.53)

詳細設定

運転終了予定時間を6時間後と9時間後に予約することができます。

設定できないコース

「ドライ」コース

こんなときには

予約内容の確認： **便利** を押す (押している間、予約内容が表示されます)

予約の取り消し： **切/入** を押し、電源を切る
(電源プラグを抜いたとき、停電したときは、予約運転は取り消されます)

予約の変更： **切/入** を押し、電源を切り、初めからやり直す

洗濯物の追加：電源を切らずに、洗濯物を入れる
(予約中の洗濯物の追加は、少なめにしてください。洗濯物を入れ過ぎると
汚れ落ちが悪くなる原因になります)

予約運転をする

今から6時間後に洗濯運転を終了させたい場合は「6時間後」、9時間後に洗濯運転を終了させたい場合は「9時間後」を設定します。

「標準」コースの表示例

6時間後(点灯)

時間(分)	洗濯コース
150	● 槽洗浄 ● 標準 ● 手造り
60	● 部屋干し ● すすぎ1回 ● 毛布
槽乾燥 30	● 予約 (点滅) ● おいそぎ ● ドライ
6時間後 9時間後	

9時間後(点滅)

時間(分)	洗濯コース
150	● 槽洗浄 ● 標準 ● 手造り
60	● 部屋干し ● すすぎ1回 ● 毛布
槽乾燥 30	● 予約 (点滅) ● おいそぎ ● ドライ
6時間後 9時間後	

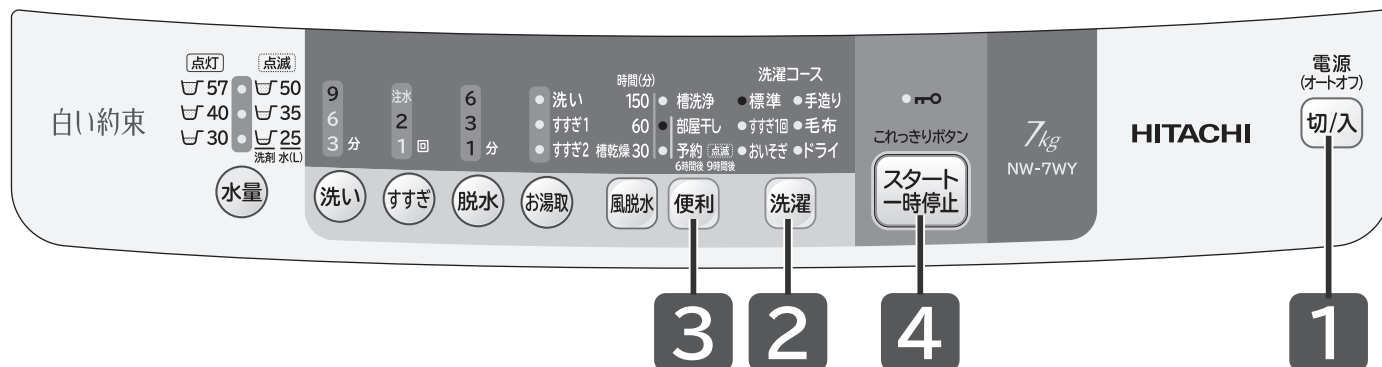
・設定を解除するときは、**便利** を押して設定なし(消灯)にする。または **洗濯** を押してください。

- 洗濯物の量や質、給水量、排水条件により運転終了予定時間が変わることがあります。
- 予約運転するときは、色移りしやすい洗濯物は一緒に洗濯しないでください。
- 洗濯物のしわ防止のため、洗濯終了後はすぐに洗濯物を取り出し、できるだけ早く干してください。
長時間放置すると、においの原因になります。
- 予約設定後に設定内容を変更して運転する場合は、一度洗濯・脱水槽内の水を排水してから運転してください。

部屋干し運転をする

洗濯から続けて風脱水します。

使いかた



準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14、15)

1

切/入 を押し、電源を入れる

2

洗濯 を押し、コースを選ぶ

押すごとにコースが選べます。

詳細設定→(P.27)

3

便利 を押し、「部屋干し」を選ぶ

4

スタート 一時停止 を押す

洗濯物の量が自動計測され、水量が表示されます。→(P.16)

洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合は自動計測されません。

5

水量表示に従って、
洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.16～19)

6

運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルターをお手入れする→(P.53)

詳細設定

高速回転で空気を取り込み、洗濯物の水分を飛ばして、干し時間を短縮します。

■干し時間を短縮することを目的とした機能なので、運転終了後は部屋干し、または天日干しをしてください。

衣類の量・種類、気温・湿度、室内の換気状態、設置環境によって乾き具合に差が出ます。

設定できないコース

「ドライ」コース

洗濯のあと、30分間風脱水をします。

部屋干し	
時間(分)	
150	● 槽洗浄
60	● 部屋干し
槽乾燥 30	● 予約 (点滅)
	6時間後 9時間後

・設定を解除するときは、**便利** を押して設定なし(消灯)にする。または **洗濯** を押してください。

部屋干し運転をする

⚠ 注意



脱水異常振動によるけがや、故障などを防ぐために→(P.6)

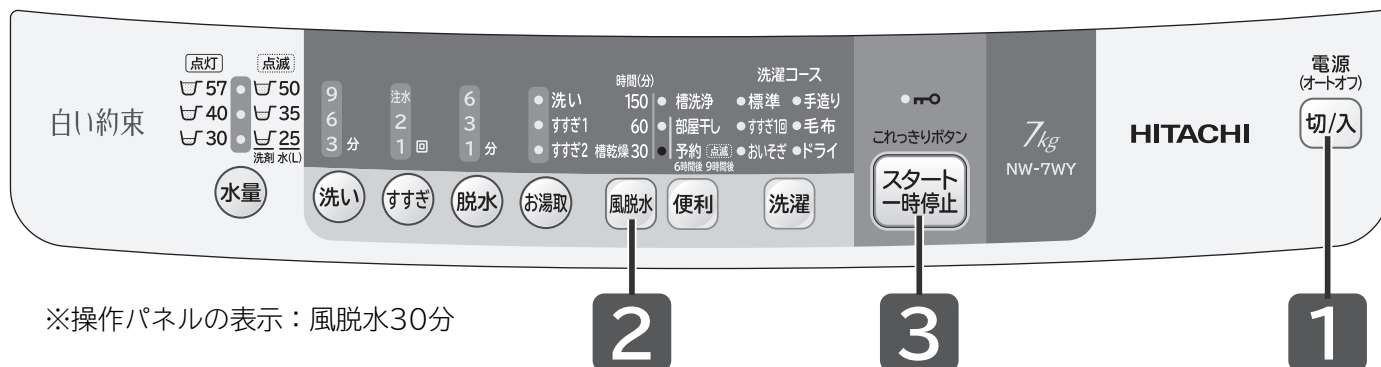
- 防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水・風脱水をしないでください。
- 毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯をしないでください。
- 一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。

脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、洗濯機や周囲の壁や床などを破損するおそれがあります。

風脱水運転をする

洗濯終了後の少量の洗濯物の仕上げや、熱に弱い素材(化繊)の洗濯物を風脱水します。
洗濯は行いません。

使いかた



準備

洗濯物を1枚ずつ広げ、片寄らないように入れる→(P.14、15)

1

切/入 を押し、電源を入れる

2

風脱水 を押し、30／60／150分から、いずれかの時間を選ぶ

3

ふたを閉め、**スタート一時停止** を押す

⚠ 注意



脱水異常振動によるけがや、故障などを防ぐために→(P.6)

- 防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水・風脱水をしないでください。
 - 毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯をしないでください。
 - 一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。
- 脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、洗濯機や周囲の壁や床などを破損するおそれがあります。

洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、水を排水してください。→(P.30)

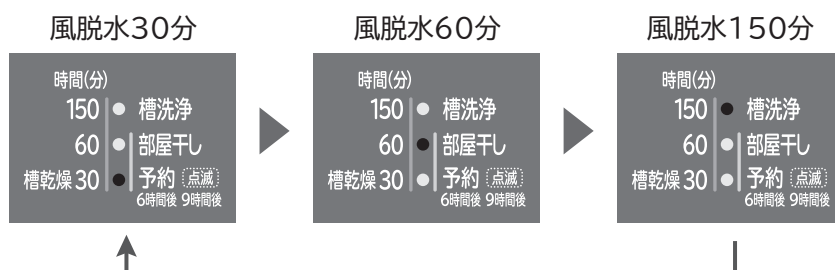
詳細設定

高速回転で空気を取り込み、洗濯物の水分を飛ばして、干し時間を短縮します。

■干し時間を短縮することを目的とした機能なので、運転終了後は部屋干し、または天日干しをしてください。

衣類の量・種類、気温・湿度、室内の換気状態、設置環境によって乾き具合に差が出ます。

風脱水 を押すごとに設定が切り替わります。



・設定を解除するときは、洗濯 を押してください。便利 は受け付けません。

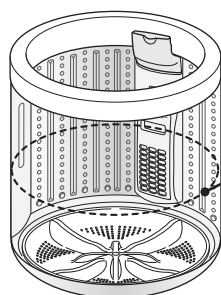
運転	最大洗濯容量	運転時間
風脱水	化繊：2kg	30分
		60分
		150分

運転時間は風脱水を行っている時間です。洗濯物の片寄りの修正や洗濯物をほぐすくはん動作により、約5～30分時間が長くなります。

洗濯物の量の目安

洗濯物を洗濯・脱水槽に入れたときの量の目安です。

目安は脱水後の湿った洗濯物をほぐして入れた状態です。



化繊約2kgの目安
上から9番目の
脱水穴が目安です。

目安の位置以上に入れないでください。
洗濯物を傷めたり、乾きムラやしわになったり
するおそれがあります。

槽洗浄・槽乾燥を使う

洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときや、カビの発生を防止したいときにおすすめするコースです。

運転の使い分け

運転	こんなときに	運転時間	風呂水吸水
槽洗浄	洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるとき 	11時間	設定できる
槽乾燥	洗濯・脱水槽のカビの発生を防止したいとき 	30分	設定できない

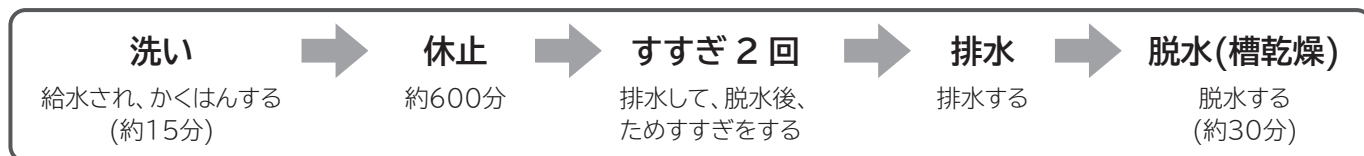
衣類は
入れないでください



槽洗浄

洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときに使用してください。洗濯槽クリーナーなどを使い、洗濯・脱水槽に蓄積された石けんかすや黒カビを洗い落とし、約30分間脱水してにおいを取ります。

●洗濯・脱水槽の動作



一般的に長期間使用すると、石けんかすの蓄積や黒カビなどにより、においが発生しやすくなります。1～2か月に一度程度を目安に槽洗浄運転をおすすめします。洗濯物への糸くず付着が気になるときも使用してください。この場合は、洗濯槽クリーナーは必要ありません。

洗濯槽クリーナーなどを使用する場合

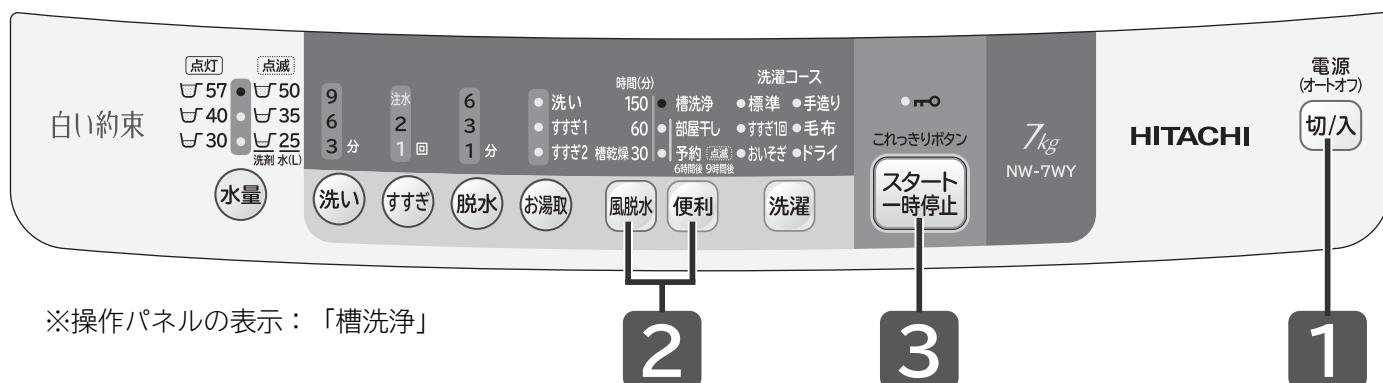
- 衣類用塩素系漂白剤(「ハイター」など)または、洗濯槽用塩素系漂白剤を使用してください。
- しっかり洗浄したいときは、洗濯機専用の洗濯槽クリーナー「防食剤配合塩素系漂白剤」(例：日立純正洗濯槽クリーナーSK-1・別売り部品)を使用してください。→(P.70)
- 洗濯槽クリーナーや各種の漂白剤に使用上の注意や使用量が表示されている場合は、表示に従ってください。
- 使用量が表示されていない場合は、約500mLを使用してください。
- 酸素系漂白剤や台所用漂白剤は使用しないでください。
泡が多量に発生し、水漏れの原因になります。
- 洗濯・脱水槽の中に入れるときは、本体表面に付着しないように注意してください。
付着した場合は、すぐにふき取ってください。



槽乾燥

洗濯・脱水槽のカビの発生を防止したいときに使用してください。約30分間洗濯・脱水槽を脱水運転して、黒カビの発生を抑えます。

使いかた



※操作パネルの表示：「槽洗浄」

「槽洗浄」の場合

準備	水栓(蛇口)を開ける 洗濯槽クリーナーなどを使用する場合は、換気をしてください。
1	切/入 を押し、電源を入れる
2	便利 を押し、「槽洗浄」を選ぶ 槽洗浄 時間(分) 150 ● 槽洗浄 60 ● 部屋干し 槽乾燥 30 ● 予約 (点滅) 6時間後 9時間後 日立純正洗濯槽クリーナーまたは衣類用塩素系漂白剤を直接洗濯・脱水槽に入れる。 風呂水を使用する→(P.22)
3	ふたを閉め、 スタート一時停止 を押す
4	運転終了後、糸くずフィルターをお手入れする→(P.53)

「槽乾燥」の場合

準備	水栓(蛇口)を開ける必要はありません
1	切/入 を押し、電源を入れる
2	風脱水 を押し、「槽乾燥 30」を選ぶ 槽乾燥30分 時間(分) 150 ● 槽洗浄 60 ● 部屋干し 槽乾燥 30 ● 予約 (点滅) 6時間後 9時間後 「風脱水30分」と「槽乾燥30分」は同じ表示です。
3	ふたを閉め、 スタート一時停止 を押す
4	運転終了後、糸くずフィルターをお手入れする→(P.53)

槽洗浄・槽乾燥を使う

洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、水を排水してください。→(P.30)

便利な使いかた

お湯取運転の最後に水道水ですすぎ（清水すすぎ）

最後のすすぎ行程を「お湯取」に設定した場合、すすぎ行程の最後に自動で水道水のすすぎ運転が行われます。→(P.24)

工場出荷時は「設定なし」が設定されています。設定を変更するときは

① **切/入** を押し、電源を入れる

設定完了を音でお知らせします。

② **お湯取** を3秒以上押す

受付音「ピッ」が鳴りますが、そのまま押し続けてください。

設定なし (工場出荷時) (清水すすぎは 行いません)	「ピッ」音でお知らせ します
設定あり	「ピー」音でお知らせ します

③ **切/入** を押し、電源を切る

変更した内容は電源を切っても記憶されています。
設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

脱水後の洗濯物をほぐす（ほぐし脱水）

脱水終了後にほぐす運転を行い(1～2分)、洗濯物を取り出しやすくします。

設定できないコース

「毛布」「ドライ」コース

工場出荷時は「設定あり」が設定されています。設定を変更するときは

① **切/入** を押し、電源を入れる

設定完了を音でお知らせします。

② **洗濯** を押し、「毛布」を選ぶ

③ **脱水** を3秒以上押す

設定あり (工場出荷時)	「ピー」音でお知らせ します
設定なし	「ピッ」音でお知らせ します

④ **切/入** を押し、電源を切る

- 変更した内容は電源を切っても記憶されています。
設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
- 洗濯物の量が約4kg以上の場合、衣類を傷めることがあるため、ほぐし動作を行いません。
- すすぎ、または脱水から運転を始めた場合は、ほぐし動作を行いません。

ボタン受付音の設定

ボタンの受付音を、音階でお知らせします。

工場出荷時は「音階」が設定されています。設定を変更するときは

① (切/入) を押し、電源を入れる

② (水量) を3秒以上押す

③ (切/入) を押し、電源を切る
(電源を切ることで完了となります)

設定完了を音でお知らせします。

音階 (工場出荷時)	「ピッ」音でお知らせ します
↑↓	
単音	「ピー」音でお知らせ します

変更した内容は電源を切っても記憶されています。
設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

便利な
使いかた

終了音の設定

運転の終了を、音(ピーピーピー)でお知らせします。

工場出荷時は「設定あり(音あり)」が設定されています。設定を変更するときは

① (切/入) を押し、電源を入れる

② (スタート一時停止) を3秒以上押す

設定したあと、電源を入れた際に、
点灯していた洗濯コースがスタート
します。

③ (切/入) を押し、電源を切る

設定完了を音でお知らせします。

音あり	設定あり (工場出荷時)	「ピッピッピッ」音で お知らせします
↑↓		
音なし	設定なし	「ピッピッピー」音で お知らせします

変更した内容は電源を切っても記憶されています。
設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

便利な使いかた つづき

お湯取設定を記憶する

お湯取設定した内容を次回運転時まで記憶する／しないを切り替えることができます。設定を「記憶する」にしておくと、運転のたびにお湯取設定する手間が省けます。

工場出荷時は「記憶しない」が設定されています。設定を変更するときは

① **切/入** を押し、電源を入れる

② **洗い** **すすぎ** **脱水** を押し、
全ての時間・回数表示を消す

③ **お湯取** を3秒以上押す
受付音「ピッ」が鳴りますが、
そのまま押し続けてください。

④ **切/入** を押し、電源を切る

変更した内容は電源を切っても記憶されています。
設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

設定完了を音でお知らせします。

設定を 記憶しない (工場出荷時)	「ピー」音でお知らせ します
設定を 記憶する※	「ピッ」音でお知らせ します

次回電源を入れたとき、お湯取する
設定になっています。

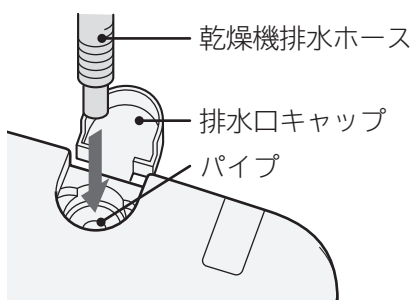
衣類乾燥機と組み合わせる

衣類乾燥機から出る水を、洗濯・脱水槽に流します。

① 洗濯機の右側後部の排水口キャップを開く

② 内部のパイプに衣類乾燥機の排水ホースを回しながら、奥まで差し込む

③ 衣類乾燥機の排水ホースを引っ張って、簡単に抜けないことを確認する
本体の排水ホースを倒してご使用ください。



お手入れ

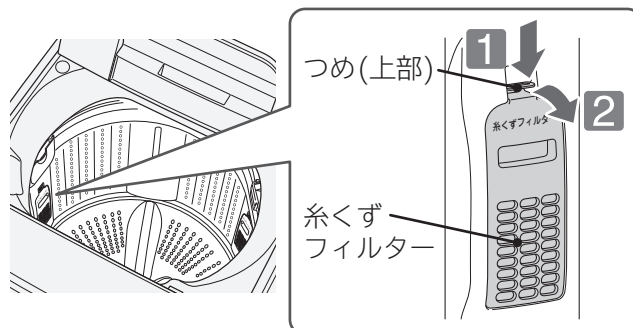
長くお使いいただくため、こまめにお手入れをしてください。お手入れ方法について説明します。

糸くずフィルター

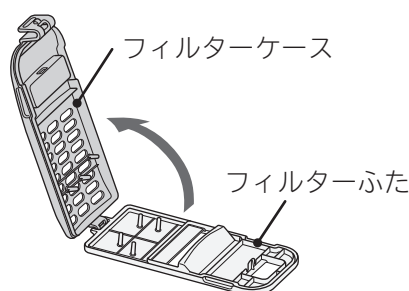
洗濯運転終了後、毎回お手入れしてください。

1 糸くずフィルターを取り外す

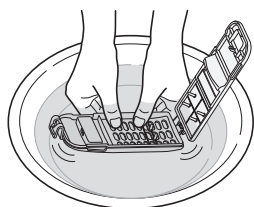
- 1 糸くずフィルターのつまめ(上部)を押したまま
- 2 手前に倒し、取り出す



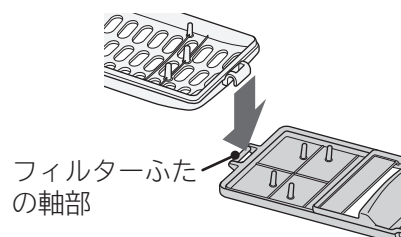
2 フィルターケースを開ける



3 糸くずフィルター内に付着している糸くずを取り除き、目詰まりを洗い落とす



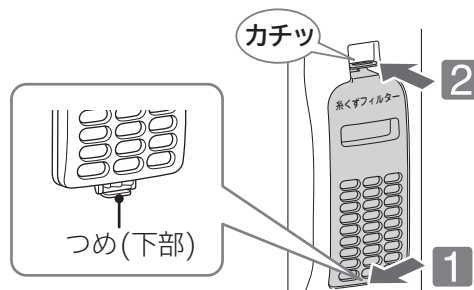
お手入れ中にふたが外れた場合



フィルターふたが外れた場合は、フィルターケースをフィルターふたの軸に合わせて、垂直に押し込んでください。

4 フィルターふたを閉め、糸くずフィルターを取り外した位置に取り付ける

- 1 糸くずフィルターのつまめ(下部)を、取り外した元の位置に入れる
- 2 糸くずフィルターのつまめ(上部)を、「カチッ」と音がするまで押す
糸くずフィルターが運転中に外れる場合があります。



- 糸くずフィルターを取り出したとき、洗濯・脱水槽のくぼみにヘアピンや硬貨などを落とさないように注意してください。
- 糸くずフィルターを外した状態で洗濯をしないでください。洗濯物を傷めるおそれがあります。

お願い 糸くずフィルターは消耗品です。
破損したときは、販売店でお買い求めください。→(P.69)

お手入れ つづき

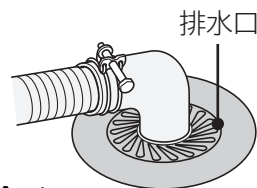
排水口・排水トラップ

月に一度を目安に、またはすすぎ表示が全て点滅した場合、お手入れしてください。

1

脱水運転を行い、排水されたことを確認し、排水ホースを排水口から外す

排水ホース内の残水が溢れ出る場合があるため、排水口の近くにバケツなどの容器を置くか、ぞうきんで残水を受けてください。



2

排水ホース内、排水口の中に残っている糸くずなどを取り除く

排水トラップのお手入れ方法については、排水トラップの取扱説明書をご覧ください。

3

排水ホースを排水口に差し込み、脱水運転を行い、排水されることを確認する

- 排水口に糸くずがたまりやすい場合や、排水口が本体の真下にあり、お手入れしにくい場合は、別売りの糸くずボックスをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。→(P.69)
- 排水ホースを排水口から外し、再度差し込む場合は、水漏れの原因になるので先端が排水配管に確実に差し込まれているか確認してください。→(据付説明書 P.8)

給水口

水道水の給水時間が長くなったり、洗い表示が全て点滅された場合、お手入れしてください。水の飛び散りを防ぐため、次の手順で行ってください。

1

給水ホース内の水を抜いたあと、給水ホースを外す

1 水栓(蛇口)を閉め、**切/入** を押し、電源を入れる

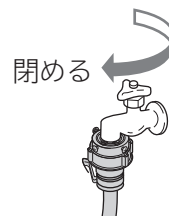
2 **便利** を押し、「槽洗浄」を選ぶ

3 **スタート一時停止** を押し、約10秒間運転させる

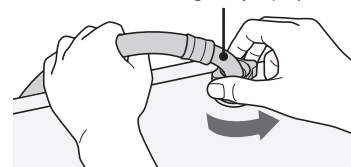
4 **スタート一時停止** を押してから、**切/入** を押し、電源を切る

5 ユニオンナットを緩め、給水ホースを外す

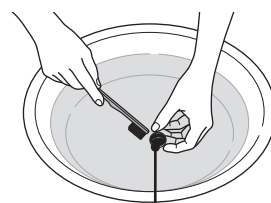
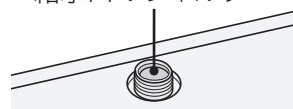
給水ホース内の残水がたれる場合があります。
給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。



ユニオンナット



給水口のフィルター



給水口のフィルター

2

給水口のフィルターにたまったゴミを、歯ブラシなどで取り除く

給水口のフィルターをペンチなどで取り外して掃除してください。

給水口のフィルターを取り付けていないと、給水弁の故障の原因になります。

3

給水ホースを給水口に取り付ける
→(据付説明書 P.13)

ユニオンナットをきちんと取り付けていないと、水漏れの原因になります。

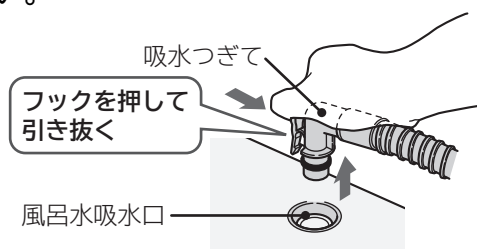
風呂水吸水口

風呂水の吸水時間が長くなったら、お手入れしてください。

1

お湯取ホースを外す

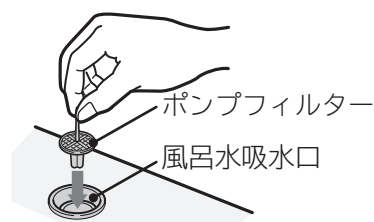
吸水つぎてを風呂水吸水口から取り外し、ホースの中の水を抜いてください。



2

ポンプフィルターを取り外し、水洗いする

ポンプフィルター中央部の突起を指またはペンチでつまみながら引き上げてください。



3

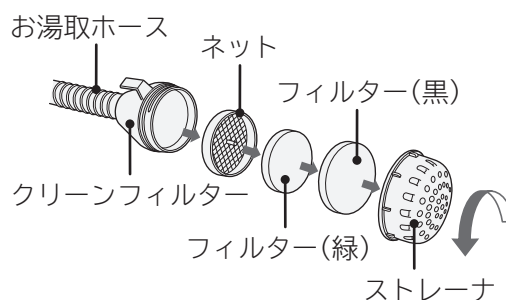
風呂水吸水口に取り付ける

お湯取ホース・クリーンフィルター

風呂水の吸水時間が長くなったら、お手入れしてください。

1

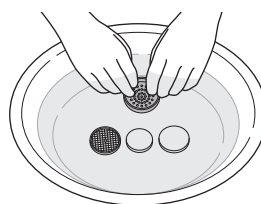
ストレーナを矢印方向に回して取り外し、フィルターやネットを取り出す



お手入れ

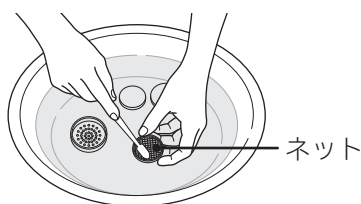
2

ネット、フィルター、ストレーナを水洗いする



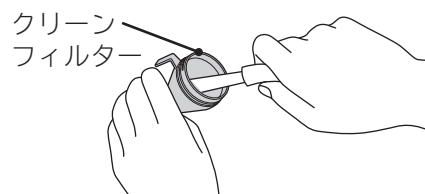
3

ネットは歯ブラシなどで掃除する



ホース内部のお手入れ

強めの水道水をホースの中に流し、内部のゴミを洗い流す。



4

水気をふき取り、取り外した位置に取り付ける

フィルター(黒)と(緑)を逆に取り付けると、クリーンフィルターが目詰まりしやすくなり、故障の原因になります。(1)の図参照)

お手入れ つづき

本体、洗濯・脱水槽

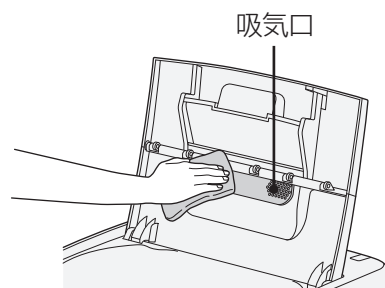
水滴が付着しているときや、汚れているときは、お手入れしてください。

- 本体の水滴や汚れ、ふたなどのプラスチック部品や、金属部品に洗剤や柔軟剤が付着したときは、柔らかい布でふき取ってください。放置すると傷みやさびが発生し、破損することがあります。
- 本体各部に直接水をかけないでください。
- ベンジン、シンナー、クレンザー、アルカリ性洗剤、弱アルカリ性洗剤、ワックスなどでふいたり、たわしでこすらないでください。
- 洗濯・脱水槽のさびは、クリームクレンザーでふき取ってください。
金属たわしなどは使わないでください。
- ステンレス槽はさびにくい性質を持っていますが、次のような場合にはさびが発生することがあります。
 - ・ヘアピンなどの洗濯・脱水槽への長時間の接触や、鉄粉や赤さびの混じった水の使用。
 - ・洗濯・脱水槽内金属部分への塩素系漂白剤や洗剤、柔軟剤の長期間放置。
- 運転終了後に、注水口から給水経路に残った水滴が垂れる場合がありますので、柔らかい布でふき取ってください。
- 洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときは「槽洗浄」、洗濯・脱水槽のカビの発生を防止したいときは「槽乾燥」を運転してください。→(P.48)

吸気口

ほこりが付着しているときや、汚れているときは、お手入れしてください。

- 1 ふたを開ける
- 2 吸気口の汚れを柔らかい布でふき取る
- 3 ふたを閉める



水栓(蛇口)、ワンタッチつぎて、給水ホース

水栓(蛇口)のパッキンなど長年使用していると、経年劣化やさびなどにより、水漏れに至るおそれがあるため、定期的(使用時など)に水漏れがないか確認してください。

万一、水漏れが起きた場合は、水栓(蛇口)を閉めて点検・修理をご相談ください。→(P.74)

洗剤トレイ（粉末洗剤投入口）

洗剤が付着しているときや、汚れているときは、洗い流してください。

1

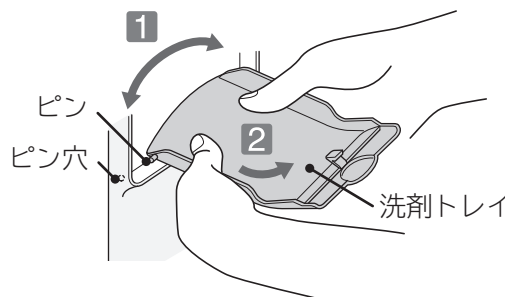
洗剤トレイを取り外す

1

洗剤トレイの中央を下から押し上げ、
図のようにたわます

2

ピンを片方ずつピン穴から外す



2

汚れを洗い流す

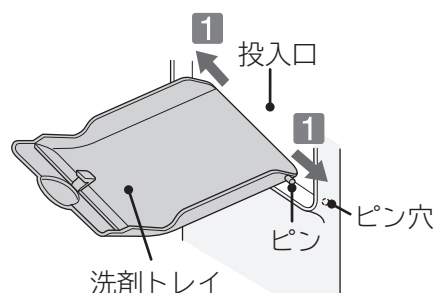
汚れがひどいときは、お湯(約40℃)に約5分間浸し、
歯ブラシなどで掃除してください。

3

水気をふき取り、洗剤トレイを取り外した
位置に取り付ける

1

洗剤トレイのピンを投入口のピン穴
に片方ずつ差し込む



柔軟剤投入口

柔軟剤が付着しているときや、汚れているときは、洗い流してください。

1

柔軟剤投入口のふたを開ける

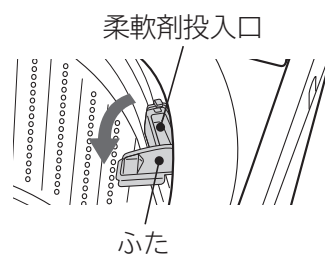
2

汚れを洗い流す

汚れがひどいときは、歯ブラシなどで掃除して
ください。

3

水気をふき取り、柔軟剤投入口のふた
を閉める



お困りのとき

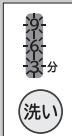
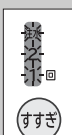
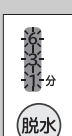
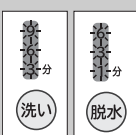
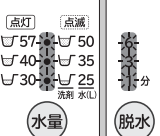
下記以外の表示が出たときは→(P.63)

操作パネルにお知らせ表示されたとき

「洗い」「すすぎ」「脱水」の点滅とブザーでお知らせします。

下の表の「直しかた」に従って運転を再開してください。

お知らせ表示されたまま12時間以上放置すると、自動で電源が切れます。

お知らせ表示と内容	直しかた
 給水されません	 を押して 一時停止 ●水栓(蛇口)は開いていますか。 ●給水口のフィルターにごみがたまっていませんか。 →(P.54) ●断水していませんか。 ●水道や給水ホースが凍結していませんか。 →(P.67,68)  を押して 運転開始
 排水されません	 を押して 一時停止 洗濯・脱水槽および排水ホース内に残水がある場合があります。脱水運転後に以下を行ってください。 ●排水口、排水トラップ、排水ホースに糸くずなどが詰まっていませんか。→(P.54) ●排水ホースが正しく取り付けられていますか。 →(据付説明書 P.8,9) ・つぶれたり、凍結していませんか。 ・排水ホースを倒していませんか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・途中15cm以上高くなっていますか。 ●延長用ホースを付けている場合、排水ホースが2m以上になっていませんか。  を押して 運転開始
 脱水されません	 を押して 一時停止 ●洗濯物が片寄っていませんか。 洗濯物は洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。 ●タオルケットやジーンズなどの厚手の洗濯物や、洗濯ネットに入れた洗濯物を、一つだけで洗っていませんか。 ほかの洗濯物を2、3枚追加してください。 ●毛布など大物の洗濯物が多く入っていませんか。 大物の洗濯物を減らしてください。 ●本体にガタつきがないか、傾いた床面に設置していませんか。 水準器の気泡が円の中に入っていることを確認してください。→(据付説明書 P.6) ●洗濯も風脱水運転もできないものを入れて運転していませんか。 洗濯も風脱水運転もできないものを取り出してください。→(P.14) 確認後  を押して 運転開始
 ふたが開いています	●ふたが開いていませんか。 洗濯・脱水槽が回転するときは、危険防止のため、ふたが開かないようにふたロックされます。 →(P.13) ふたを 閉めると 運転再開
 ふたがロックされません ふたロックが解除されません	 を押して 一時停止 ふたが閉まっていますか。→(P.13) 確認後  を押して 運転開始

次のような場合は使用を中止し、「エコーセンター」へお問い合わせください。→(P.74)

- 上記のお知らせが表示された場合、「直しかた」の項目を確認しても、何度も繰り返し表示される場合。
- 上記以外のお知らせが表示された場合、電源を一度切り、再度電源を入れ直しても何度も繰り返し表示される場合。

こんな音がしたとき

次のような音は、正常に運転しているときに発生する音です。

こんな音がしたとき		音の原因（故障ではありません）
洗いまたはすすぎをしているとき	カチャ・カツカツ	洗い運転と、すすぎ前の脱水運転とを切り替えるときの音です。
	ブーン・カラカラ	モーターの運転音です。
	シュー・カラカラ	洗濯物の量を計測している音です。
	ブーン・ブンブンブン	洗濯・脱水槽を回転させながら、給水しているときの音です。
	ブーン	「毛布」「ドライ」コースの運転音です。
脱水しているとき	ブーン・カラカラ	モーターの運転音です。 ・脱水のとき、洗濯・脱水槽が回転する速度は段階的に速くなるため、回転速度が上がると、音が大きくなることがあります。
	ブンブンブン・カチャ	脱水運転に切り替えるときの音です。
	ブーン	ブレーキの音です。
お湯取運転しているとき	ウィーン	風呂水を吸水するときの、お湯取ポンプの運転音です。 ・風呂水の吸水が始まったとき、風呂水がなくなったとき、正しく風呂水吸水されなくなったときに、ポンプの運転音が大きくなる場合があります。
	ポコ・ポコ	風呂水が吸水されるときに、お湯取ポンプ内の空気が動いている音です。

本体各部

次のようなときは、修理を依頼される前に、もう一度確認してください。

こんなときは		ここを確認してください
① 音	音が気になる	洗濯・脱水槽の中に、硬貨やヘアピンなど異物が詰まっていないかを確認してください。
	給水音大きい	水道水圧が高いと、給水音が大きくなる場合があります。 気になる場合は、水栓(蛇口)を絞ってお使いください。
	脱水終了後、接触音がする	洗濯物を取り出しやすくするために、ほぐし動作をしています。
② 振動	振動や騒音が気になる	水準器の気泡が円の中に入っていることを確認してください。→(据付説明書 P.6)
		洗濯物の片寄り具合により、脱水時の音や振動が大きくなる場合があります。 「一時停止」ボタンを押してから、洗濯物は洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。「スタート」ボタンを押すと運転が再開されます。

お困りのとき つづき

こんなときは		ここを確認してください
③ 給水口・給水	給水されない	水栓(蛇口)が開いていることを確認してください。→(据付説明書 P.11)
		給水口のフィルターにゴミがたまっていないか確認してください。→(P.54)
		水道や給水ホースが凍結していないか確認してください。→(P.67、68)
		お湯取運転の設定内容を確認してください。→(P.22)
		ふたが開いていないかを確認してください。 ふたを閉めると給水が始まります。 給水が始まるまでに約1分かかります。
	給水ホースから水漏れする	水栓(蛇口)の形状が合っていることを確認してください。→(据付説明書 P.11)
		ワンタッチつぎてやユニオンナットの締め付けに緩みがないか確認してください。 →(据付説明書 P.13)
		水栓(蛇口)のパッキンや金属部など、長年使用していると経年劣化やさびなどにより、水漏れすることがあります。 専門工事店へご相談することをおすすめします。
	(バケツなどで水を入れるとき)水がたまらない	電源を入れると排水口の弁が閉まり、洗濯・脱水槽に水をためることができます。
	水が抜ける	洗濯・脱水槽に約25L以下の水が入っていた場合、電源を入れると入っていた水が排水します。約25L以上は排水しません。(「標準」「手造り」「すすぎ1回」「おいそぎ」コース)約25Lの水は糸くずフィルターの中間が目安です。
		「毛布」「ドライ」コースの場合は、槽回転を制御するために、あらかじめ水が入っているといくら排水します。
④ 排水口・排水	排水口が詰まる	排水トラップの形状によっては、糸くずが詰まりやすくなる場合があります。 「槽洗浄」で洗濯・脱水槽を洗い流してください。→(P.48) 排水口に残る糸くずなどを押し流すことができる場合があります。
		排水口は、月に一度を目安にお手入れしてください。 それでも排水口が詰まる場合は、別売り部品の「糸くずボックス」をお買い求めいただき、設置されることをおすすめします。→(P.69)
	排水口の周りが泡であふれている、ぬれている	洗剤や漂白剤を入れ過ぎると、運転中に泡が多量に発生し、排水口から水が漏れたり、泡があふれたりする場合があります。 洗剤や漂白剤は、表示に従って適量を入れてください。→(P.17)

こんなときは		ここを確認してください
5 ふた	ふたが開かない	電源が入っている状態でふたロック表示が点灯 ●  ● しているときは、ふたを開けられません。→(P.13)
		チャイルドロックを設定している場合は解除してください。→(P.13)
		ふたロック表示が点灯 ●  ● した状態で電源を切ると、ふたがロックされたままとなり開けられません。 電源を入ると、ふたのロックが解除されます。
		脱水運転中に電源を切ると、洗濯・脱水槽の回転が止まるまで、ふたはロックされたままとなり開けられません。 洗濯・脱水槽の回転が止まるまで、お待ちください。ふたロック表示が消灯 ○  ● すると、ふたは開けられます。
	運転終了時、ふた裏側や投入口への水滴付着が気になる	洗濯物の組み合わせや運転内容によって、洗い／すすぎ中の洗濯物の絡まり具合により、水滴が付着する場合があります。 気になるときは、乾いた布でふき取ってください。
6 洗濯・脱水槽	初めて使用するのに、洗濯・脱水槽や排水ホースがぬれている	工場出荷時の動作確認に使用した際の残水や結露した水分が、洗濯・脱水槽やホースに残っている場合があります。
	洗濯・脱水槽が変色する	水や洗剤に含まれる成分が洗濯・脱水槽の表面に付着して酸化し、変色をする場合があります。 気になるときは、ステンレス専用クリーナーでふき取ってください。
7 電源	電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。
	運転途中で止まっている・運転の途中で電源が切れる	テレビやラジオなど、ノイズが出る機器が本体の側にあると電源が切れる場合があります。 一度電源プラグを抜き差ししたあと、再度運転してください。
		脱水時に洗濯物の片寄りを検知して「脱水」時間が全て点滅され、運転を中断する場合があります。 洗濯物の片寄りを直すか、ほかの洗濯物を追加して再度運転してください。
	「電源」ボタンを「切」→「入」と受け付けない	約10秒間、コース表示が消灯するまで、電源「切/入」ボタンを受け付けません。

お困りのとき つづき

こんなときは		ここを確認してください
⑧ 風呂水吸水・風呂水吸水口	お湯取設定しても風呂水が吸水されない	お湯取運転をするときも水道水を使用します。 水栓(蛇口)を開けてから運転を開始してください。
		お湯取ホースが正しくセットされているか確認してください。→(P.22)
		風呂水ポンプが動作しても、お湯取ホース内の空気を抜くため、風呂水を吸い上げ始めるのに約1～3分かかります。
		運転スタート後、12分たっても風呂水が吸水されない場合や、途中で風呂水がなくなった場合は、自動で水道水による運転に切り替わります。
		お湯取ホース先端のクリーンフィルターに、ゴミなどが詰まっていないか確認してください。→(P.55)
		発泡、ゼリー、とろみタイプの入浴剤を入れた風呂水は、吸水できない場合があります。使用しないでください。
		風呂水吸水性能を上げるため、1分ごとに7秒間水道水を給水する場合があります。
⑨ 本体	自動で水道水に切り替わらない	お湯取運転中に風呂水がなくなった場合や、正しく風呂水吸水されない場合は、自動で水道水給水に切り替わるため、時間が長くなる場合(最長で約17分)があります。
	表示部がくもる	お湯取運転をしていると、洗濯・脱水槽が温められ、蒸気や湿気でくもる場合があります。くもりが消えるまで、しばらくお待ちください。
⑩ 運転動作	すすぎ運転が設定した内容と違う	洗剤を入れ過ぎると、泡が多量に発生するため、泡の発生を抑える「注水すすぎ」に変更されます。 洗剤は表示に従って適量を入れてください。→(P.17)
	脱水運転中にすすぎ運転に戻る	すすぎ行程での脱水時に洗濯物の片寄りを直せなかった場合は、自動で「注水すすぎ」に変更します。
⑪ 運転動作	脱水運転中にすすぎ運転に戻る	最終脱水時に洗濯物の片寄りが起きると洗濯物の片寄りを直すために、すすぎ運転に戻ります。
	脱水運転時の洗濯・脱水槽の回転速度が変化する	洗濯物の量や片寄り具合に合わせて、洗濯・脱水槽の回転速度を自動で調節しています。

本体の運転動作

こんなときは		ここを確認してください
⑩ 運転動作	すすぎ運転が設定した内容と違う	洗剤を入れ過ぎると、泡が多量に発生するため、泡の発生を抑える「注水すすぎ」に変更されます。 洗剤は表示に従って適量を入れてください。→(P.17)
		すすぎ行程での脱水時に洗濯物の片寄りを直せなかった場合は、自動で「注水すすぎ」に変更します。
	脱水運転中にすすぎ運転に戻る	最終脱水時に洗濯物の片寄りが起きると洗濯物の片寄りを直すために、すすぎ運転に戻ります。
	脱水運転時の洗濯・脱水槽の回転速度が変化する	洗濯物の量や片寄り具合に合わせて、洗濯・脱水槽の回転速度を自動で調節しています。

こんなときは		ここを確認してください
⑩ 運転動作	脱水後にほぐし動作をしない	「ほぐし脱水」が設定されているか確認してください。→(P.50) 洗濯物の量が約4kg以上の場合は、衣類を傷めることがあるため、ほぐし動作を行いません。 すすぎ、または脱水から運転を開始した場合は、脱水終了後のほぐし動作を行いません。
	脱水運転中に一時停止させると電源が切れる	ほぐし脱水中に一時停止すると、ほぐし脱水を終了させるため電源が切れます。
	「風脱水」ボタンを押したのに運転しない	洗濯・脱水槽に水が入っていると運転しません。 洗濯・脱水槽内の水を排水してください。→(P.30)
⑪ 運転時間	運転時間が長い	脱水運転中に洗濯物の片寄りが発生すると、片寄りを直す運転が自動で追加されるため、運転時間が長くなります。 洗濯運転の途中で、洗濯物を追加すると、最初に自動計測された洗濯物の重さより重くなるので、運転時間が長くなる場合があります。 洗濯物の布質、大きさ、気温、水温などの条件によって運転時間が変化するため、最初に表示された残時間は、実際の運転時間と異なる場合があります。
	予約した時間に運転が終わらない	洗濯物の量や布質、給水量によって、予約した運転終了予定時間より、実際の運転終了時間が遅くなる場合があります。
	洗濯時間が長い	ほぐし脱水や洗濯物の片寄りにより、5～30分ほど洗濯時間が長くなる場合があります。

操作パネルの表示内容〔点滅表示されたとき→(P.58)〕

こんなときは		ここを確認してください
⑫ 水量表示	スタート直後、水量表示が一番高い水量になる	洗濯・脱水槽に、あらかじめ水が入っていると、自動で一番高い水量になります。
	洗濯物の量が少なくても、水量表示が多めに表示される	洗濯物が湿気を多く含んでいたり、ぬれていたりすると、洗濯物の量が多めに計測されます。 水量を変更したい場合は、一時停止ボタンを押し、水量を変更してください。 厚手の洗濯物は重いため、洗濯物の量が多めに計測される場合があります。 水量を変更したい場合は、一時停止ボタンを押し、水量を変更してください。
	洗濯物の量が多くても、水量表示が少なめに表示される	ご購入後、使用される最初のときはモーターのなじみの影響により制御しているため、少なめに表示される場合があります。 水量を変更したい場合は、一時停止ボタンを押し、水量を変更してください。 化繊、ポリエステルなどの洗濯物は軽いため、洗濯物の量が少なめに計測される場合があります。 水量を変更したい場合は、一時停止ボタンを押し、水量を変更してください。
⑬ 運転中表示	注水すすぎに設定していないのに、「注水」ランプが点灯する	洗濯物の片寄りが起きた場合、ほぐし動作を行うため、「注水すすぎ」に切り替わります。
	洗濯物の量が自動計測されたあとに、脱水表示が増える	洗濯物の量と質により、脱水時間を自動計測しているためです。

お困りのとき つづき

洗濯物の仕上がりが気になる

こんなときは	ここを確認してください
14 洗剤残りがあ (白いものが残る)	洗剤を直接、洗濯・脱水槽に入れると溶け残るおそれがあります。 洗剤は洗剤トレイに入れてください。→(P.18)
	固まった洗剤を入れると溶け残りのほかに水漏れの原因にもなります。 細かく砕いてから洗剤トレイに入れてください。
	石けん(天然油脂)は、洗剤トレイに入れないでください。 石けん(天然油脂)をご使用になる場合は、十分に溶かしてから、直接、洗濯・脱水槽に入れてください。→(P.20)
	洗剤の種類によっては、水温が低いときに溶け残ることがあります。 洗剤は表示に従って適量を入れてください。→(P.17)
	洗剤残りが気になる場合は、下記をお試しく下さい。 ・すすぎ回数を増やす、もしくは「注水すすぎ」に設定してください。→(P.29) ・洗剤を液体洗剤に変えてお試しく下さい。
15 糸くずが気になる	糸くずフィルターに糸くずがたまっているかを確認してください。 糸くずフィルターは、洗濯運転終了後、毎回お手入れしてください。→(P.53)
	「槽洗浄」で洗濯・脱水槽を洗い流してから洗濯することをおすすめします。→(P.48) ・洗濯・脱水槽の内部に、固形の汚れ(糸くずなどの固まり)がたい積していることが あります。
	色の濃い洗濯物は糸くずが目立ちやすいため、下記をお試しく下さい。 ・すすぎ回数を増やす、もしくは「注水すすぎ」に設定してください。→(P.29)
	糸くずなどが気になるものは、裏返して洗ってください。
	タオル・バスタオルなどは別にして洗ってください。
16 汚れ落ちが悪い	洗濯物を入れ過ぎていないか確認してください。 運転するコースにより、洗濯できる容量が異なります。→(P.25)
	泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは下記をお試しく下さい。 ・洗い運転の時間を長く設定してください。→(P.29) ・「手造り」コースで運転してください。→(P.28)
	洗剤は表示に従って適量を入れてください。→(P.17) ・洗剤が少な過ぎると、汚れ落ちが悪くなります。 ・石けん(天然油脂)を使用する場合は、十分に溶かしてから、直接、洗濯・脱水槽に入れて ください。→(P.20)

こんなときは	ここを確認してください
17 黒ずみが気になる	洗剤は洗剤トレイ、柔軟剤は柔軟剤投入口に入れてください。→(P.18)
	洗剤・柔軟剤は表示に従って適量を入れてください。→(P.17) ・洗剤が少な過ぎたり、入れ過ぎたりすると、汚れ落ちが悪くなり、柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなって黒ずみの原因になります。 ・柔軟剤を入れ過ぎると、洗濯運転を繰り返すごとに柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなって黒ずみの原因になります。
	液体洗剤と柔軟剤を一緒に使用すると、柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなって黒ずみが目立つことがあります。 洗剤を粉末合成洗剤に変えてお試しください。
	洗濯物は湿ったまま長時間放置しないでください。 洗濯物に黒い点々がついている場合は、カビ菌が繁殖している可能性があります。
	黒ずみを直したいときは、下記をお試しください。 【ご注意】 洗濯物をいためる場合もありますので、洗剤・漂白剤の注意書きや洗濯物の絵表示などを確認してください。 状態によっては完全に直せない場合があります。 ・3倍濃度の洗剤液に一晩つけ置きしたあと、洗濯してください。 ・白物は塩素系漂白剤または還元系漂白剤(ハイδροハイター)、色・柄物は酸素系漂白剤で漂白(洗面器などに短時間のつけ置き)してください。
18 黄ばみが気になる	洗剤は洗剤トレイ、柔軟剤は柔軟剤投入口に入れてください。→(P.18)
	洗剤・柔軟剤は表示に従って適量を入れてください。→(P.17) ・洗剤が少な過ぎたり、入れ過ぎたりすると、汚れ落ちが悪くなって黄ばむ原因になります。 ・柔軟剤を入れ過ぎると、しみが発生する場合があります。 ・適量を入れても洗濯物の汚れ具合によっては、黄ばみになる場合があります。
	黄ばみを抑えたいときは、下記をお試しください。 ・予洗いをする、または洗い時間を長く設定してください。→(P.29) ・すすぎ回数を増やす、もしくは「注水すすぎ」に設定してください。→(P.29)
	黄ばみを直したいときは、下記をお試しください。 【ご注意】 洗濯物をいためる場合もありますので、洗剤・漂白剤の注意書きや洗濯物の絵表示などを確認してください。 状態によっては完全に直せない場合があります。 ・3倍濃度の洗剤液に一晩つけ置きしたあと、洗濯してください。 ・白物は塩素系漂白剤または還元系漂白剤(ハイδροハイター)、色・柄物は酸素系漂白剤で漂白(洗面器などに短時間のつけ置き)してください。

お困りのとき つづき

こんなときは	ここを確認してください
19 色移りや変色が 気になる	洗濯物の取り扱い表示を確認してください。 色の濃い洗濯物など色移りしやすいものは、ほかの洗濯物と分けて洗ってください。 また、長時間のつけ置きはお避けください。
	水道水に水道管のさびが含まれていないか、タオルなどで水を通して確認してください。 含まれている場合は、専門工事店へご相談ください。 色移りや変色を直したいときは、下記をお試しください。 【ご注意】 洗濯物をいためる場合もありますので、洗剤・漂白剤の注意書きや洗濯物の絵表示などを確認してください。 状態によっては完全に直せない場合があります。 ・白物は塩素系漂白剤または還元系漂白剤(ハイドロハイター)、色・柄物は酸素系漂白剤で漂白(洗面器などに短時間のつけ置き)してください。 ・「槽洗浄」を運転してください。→(P.48)
20 洗濯物がゴワつく	タオルなどパイル素材の洗濯物は、パイルが寝てごわつきが感じられることがあります。 柔軟剤の使用をおすすめします。
21 においがつく	ご購入後しばらくの間、ゴム部品などのにおいがすることがあります。 使用するにつれて、においはなくなります。 気になる場合は、「槽洗浄」で洗濯・脱水槽を洗い流してください。→(P.48)
	洗濯・脱水槽に石けんかすが蓄積したり黒カビが発生したりすると、においの原因になります。 黒カビの発生を抑えたいときは、下記をお試しください。 ・黒カビの発生を抑えるため、ふたを開けておくことをおすすめします。 (子どもが洗濯・脱水槽の中に入らないよう注意してください) ・定期的に「槽洗浄」で洗濯・脱水槽を洗い流してください。 さらに、洗濯・脱水槽の黒カビの発生を抑えるため、「槽乾燥」を運転することをおすすめします。→(P.48)
	排水口に糸くずなどがたまっていないかを確認してください。 排水口は、月に一度を目安にお手入れをしてください。→(P.54)
	香りの強い洗剤や柔軟剤、粘性の高いものを使用すると、洗濯物に香りが強く残ることがあります。
	お湯取運転に入浴剤を入れた風呂水を使用した場合、入浴剤の香りが洗濯物に残ることがあります。
	洗濯後や生乾きの状態で洗濯物を放置すると、においの原因になります。 運転終了後は洗濯物をすぐに取り出してください。
	排水口からのにおいを吸い込み、洗濯物にしみつくことがあります。 においが気になる場合は、別売りの「洗濯機用排水トラップ YT-T1」をお買い求めください。→(P.69)

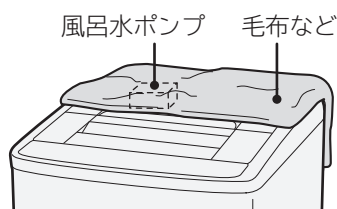
もしものとき

凍結のおそれがあるとき（または転居などで水抜きをするとき）

- 1 水栓(蛇口)を閉める
- 2 **切/入** を押し、電源を入れる
- 3 **便利** を押し、「槽洗浄」を選び、**スタート一時停止** を押して運転させる
- 4 約30秒間運転して **スタート一時停止** を押し、**切/入** を押し、電源を切る
給水ホース内の残水を抜きます。
- 5 給水ホースを外し、下に向ける
給水ホース内に残った水がたれる場合があります。
給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。
- 6 お湯取ホースを取り付けている場合は、浴槽からクリーンフィルター(お湯取ホース)を取り出し、吸水つぎてを外す→(P.22)
- 7 排水ホースを排水口に差し込む
- 8 **切/入** を押し、電源を入れる
- 9 **脱水** を押し、「1分」を設定して運転させる→(P.29)

洗濯・脱水槽と排水ホース内の水を抜くためです。

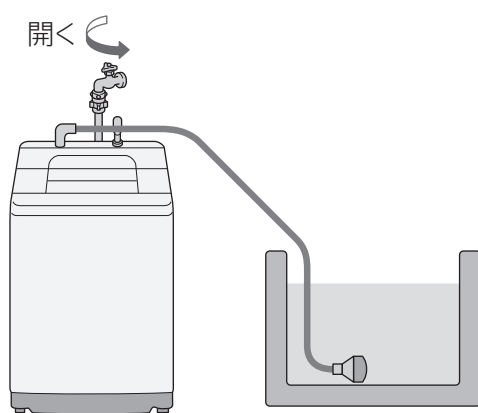
※寒冷地での使用など凍結のおそれのある場合は、本体のうしろ側(上部)を毛布などで保温してください。



もしものとき つづき

もし凍結したとき

- 1 給水ホースを外し、約40℃のお湯につける
お湯取ホース、クリーンフィルターも同様にお湯につけます。
- 2 約40℃程度のお湯を、洗濯・脱水槽に約5L入れ、約10分間放置する
- 3 給水ホースおよびお湯取ホースをつなぎ、水栓(蛇口)を開ける



- 4 **切/入** を押し、電源を入れる
- 5 **スタート一時停止** を押し、放置する(給水弁を解凍します)
通電時の熱で給水弁が解凍され、給水を始めます。(約20分程度)
- 6 **切/入** を押し、電源を切る
- 7 次の3点を確認する

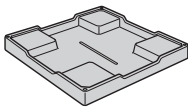
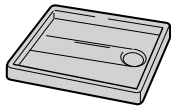
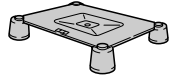
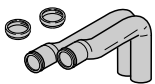
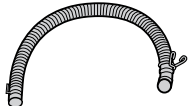
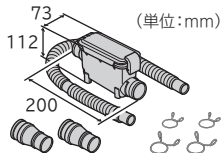
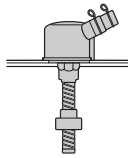
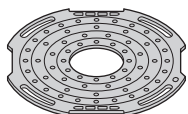
- (1)手で洗濯・脱水槽を回せるか
- (2)電源を入れ、脱水ボタンを押し、脱水「1分」→(P.29)を設定してスタートし排水するか
- (3)風呂水が吸水されるか
(「標準」コースでお湯取設定して運転させる)

風呂水ポンプの解凍には、時間がかかる場合があります。
吸水できないまま運転した場合は、自動で水道水に切り替わります。

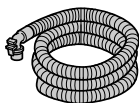
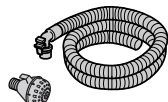
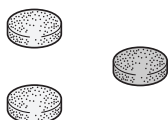
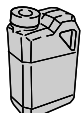
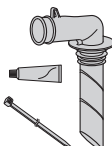
※確認できない場合は、①～⑥を始めからやり直してください。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。

こんなときは	別売り部品
結露による水滴から床面を守るとき	洗濯機用トレイ (YT-4) (幅640×奥行640×高さ83mm) (部品番号YT-4-001) 希望小売価格 12,700円(税別) 
本体からの水漏れや、結露による水滴から床面を守るとき	洗濯機用防水パン (TP-780) (幅780×奥行640×高さ63mm) 希望小売価格 12,000円(税別) 住宅工事の工務店などの工事が必要です。 工務店にご相談のうえ、お買い求めください。 
本体を高くするときや、防水パンに入らない場合の設置のとき	全自動専用設置台 (UP-D3) 希望小売価格 5,000円(税別) 
排水口が本体の下にあるとき	直下排水L形パイプ (HO-P5) 希望小売価格 1,000円(税別) 
排水ホースを延長したいとき	延長用排水ホース (約80cm) (部品番号KW-50K1-023) 希望小売価格 800円(税別) 
排水口が糸くずなどで詰まりやすくなったとき	糸くずボックス (WLB-4) (同梱排水ホース：長さ80cm) (部品番号WLB-4-001) 希望小売価格 2,000円(税別) 
排水口からの逆流やにおいを防ぐとき	洗濯機用排水トラップ (YT-T1) 希望小売価格 4,000円(税別) 排水トラップの取り付けには、住宅工事の工務店などの工事が必要です。工務店にご相談のうえ、お買い求めください。 
毛布・ドライコースで洗濯をするとき	お洗濯キャップ (MO-F79) (部品番号MO-F79-001) 希望小売価格 1,200円(税別) 
糸くずフィルターが破損したとき	糸くずフィルター (1個) (型式 NET-KD9SV-001) 希望小売価格 600円(税別) 

別売り部品 つづき

こんなときは	別売り部品
お湯取ホースを延長したいとき 〔付属品のお湯取ホース(約4m)で長さが足りない場合〕 (延長用ではありません)	お湯取ホース(約7m) (部品番号NW-9S3-028) 希望小売価格 1,800円(税別) クリーンフィルターは付いていません。 
	お湯取ホース(約5m) (部品番号NW-9S3-029) 希望小売価格 1,700円(税別) クリーンフィルターが付いています。 
クリーンフィルターが目詰まりしたとき や、破損したとき	お湯取ポンプストレーナ (部品番号NW-60RS1-048) 希望小売価格 300円(税別) 
	お湯取ポンプフィルター(緑)(黒)セット (部品番号BW-D9JV-088) 希望小売価格 300円(税別) 
	お湯取ポンプネット (部品番号NW-7S-057) 希望小売価格 300円(税別) 
風呂水吸水口のフィルターが破損したとき	ポンプフィルター (部品番号BW-DV9F-081) 希望小売価格 300円(税別) 
洗濯物のおいが気になるときや、洗濯・脱水槽のおい、汚れが気になるとき	洗濯槽クリーナー(SK-1) (塩素系/1500mL) 希望小売価格 2,000円(税別) 
排水口に接続するとき (排水口から泡が出るような場合)	Lパイプ (部品番号BD-V3700L-003) 希望小売価格 700円(税別) 

上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

本 体

型 式	NW-7WY	NW-6WY
種 類	全自動電気洗濯機	全自動電気洗濯機
電 源	100V、50/60Hz共用	100V、50/60Hz共用
標準洗濯容量	7.0kg（乾燥状態での布質量）	6.0kg（乾燥状態での布質量）
標準脱水容量		
標準水量	57L（「標準」コース）	53L（「標準」コース）
標準使用水量	108L（「標準」コース）	103L（「標準」コース）
消費電力	490/590W（50/60Hz）	480/580W（50/60Hz）
洗濯方式	うず巻式	うず巻式
水道水圧	0.03～0.8MPa {0.3～8kgf/cm ² }	0.03～0.8MPa {0.3～8kgf/cm ² }
外形寸法	幅577mm×奥行530mm×高さ986mm	幅577mm×奥行530mm×高さ986mm
質 量	33kg	33kg

風呂水ポンプ（本体に内蔵）

定格消費電力	40W（50-60Hz）	揚 水 量	毎分12L （全揚程1.2m、ホース長さ4mのとき）
定格電圧	DC 100V		
定格電流	DC 0.43A	お湯取ホース内径	15mm（市販のホースは使えません）

保証とアフターサービス (よくお読みください)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】(本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります)

	【設計上の標準使用期間】 7年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。
---	--

(設計上の標準使用期間とは)

- ・ 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- ・ 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件

日本工業規格 JIS C9921-4による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
負荷条件	負荷	標準容量	取扱説明書の表示による
	コース	標準コース	
	給水圧力	0.03~0.8MPa	
	給湯・給水温度	20℃±15℃	
使用時間 及び回数	1日の平均使用回数	1.5回	
	1回の使用時間	標準コースの時間	
	1年間の使用日数	365日	
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年	

注記：温度20℃、湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。

(経年劣化とは)

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

保証書(別添)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
- (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
- (ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。

保証期間：お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

洗濯機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→(P.74)にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

修理を依頼されるときは

出張修理

58～66ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品 名	全自動電気洗濯機
型 式	エヌダブリュー7ダブリューワイ、エヌダブリュー6ダブリューワイ NW-7WY , NW-6WY
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

以下のような場合には、保証期間の対象外となります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検(有料)を受けてお使いになることをおすすめいたします。

- 車両、船舶に搭載して使用された場合。
- 理容院や美容院などの業務用使用、また、寮や病院などの共同使用により、1日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合、短期間で部品交換(クラッチ、シール、軸受、ベルト、プーリ、フィルターなど)が必要になることがあります。

保証とアフターサービス つづき

愛情点検

★長年ご使用の洗濯機の点検を！



ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- 洗濯・脱水槽が止まりにくい。
- 水漏れがする。(ホース、水槽、給水栓継手)
- こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。
- 本体にさわるとピリピリ電気をを感じる。
- 据付が傾いたりグラグラしている。
- 電源を入れても、動かないときがある。
- タイマーが途中で止まることがある。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- そのほかの異常・故障がある。
- 電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。

ご使用
中 止

このような症状の
ときは、故障や事
故防止のため、電
源を切り、コンセ
ントから電源プラ
グを抜いて販売店
に点検・修理をご
相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからご利用できます。

修理に関するご相談は
エコセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00～19:00(月～土)、9:00～17:30(日・祝日)
携帯電話、PHSからご利用できます。

日立家電品の長期使用についてのご相談は、日立長期使用家電品相談窓口へ

TEL 0120-1454-58

(受付時間) 9:00～17:30(月～金) 土、日、祝日および、年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからご利用できます。

出張修理のご用命はインターネットからお申込みいただけます。

URL <http://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/toiawase.html> または

日立家電修理

検索

「お問い合わせ」ページの「出張修理のWeb受付」ボタンより入力画面にお進みください。

(注) 対象製品をご確認のうえお申込みください。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

点字シール

本洗濯機の操作パネル部にお使いいただく「点字シール」をご用意しています。

「点字シール」を操作パネル部にはり付けていただくと、操作部の位置がわかるようになります。

ご希望の方は、お客様相談センターへご連絡をお願いします。

メモ

Handwriting practice lines consisting of multiple horizontal dashed lines across the page.

ホームページから「使いかた動画」を見る

スマートフォンやタブレット端末を使うとき（コードが読み取れるとき）

① コードを読み取る



② 見たい項目を選択



③ 再生



パソコンを使うとき（コードが読み取れないとき）

- ① URL を入力 http://kadenfan.hitachi.co.jp/manual_movie/wash/nw-8wy/index.html
- ② 見たい項目を選択
- ③ 再生

お知らせ

- ご利用の環境によっては、コードの読み取り、動画の再生ができない場合があります。
- ご利用の際は、通信費等の費用がかかります。
- 使いかた動画のホームページ掲載は、予告なく中止することがあります。



このJ-Mossグリーンマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル））の含有率がJIS C 0950：2008による基準値以下であることを示しています。（規定の除外項目を除く）

詳しい環境情報は、当社のホームページでご覧いただけます。 <http://www.hitachi-ap.co.jp/company/environment/kankyo/jmoss/>

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名

電話（ ） -

ご購入年月日

年 月 日

廃棄時にご注意ください。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111